

高知市中山間地域実態把握調査

集落代表者調査結果報告書

高知市

－ 目 次 －

1 . 調査概要	1
〔 1 〕 調査目的	1
〔 2 〕 調査項目	1
〔 3 〕 調査方法	1
〔 4 〕 実施方法	1
〔 5 〕 回収結果	1
〔 6 〕 調査結果の見方	2
2 . 調査結果の内容	3
〔 1 〕 集落（町内会等） 集落の代表者について	3
〔 2 〕 集落活動等について	8
〔 3 〕 ライフラインについて	25
〔 4 〕 産業について	27
〔 5 〕 移住について	32
〔 6 〕 集落の魅力・課題について	39
集計編（数表）	40
調査票	60

1 . 調査の概要

〔 1 〕 調査目的

高知市の中山間地域の集落や世帯を対象とした調査を実施することにより、中山間地域における現状や課題を明らかにし、今後の中山間地域での施策推進のための基礎資料と成すことを目的とする。

〔 2 〕 調査項目

- ・ 集落（町内会等）、集落の代表者について（集落名称、集落戸数、職業、年齢、性別、代表者任期間、集落代表者任期・選任方法、後継者）
- ・ 集落活動等について
- ・ ライフラインについて
- ・ 産業について
- ・ 移住について
- ・ 集落の魅力・課題について

〔 3 〕 調査対象

- ・ 調査地域：高知市中山間地域
（鏡地域、土佐山地域、宗安寺、行川、針原、上里、領家、唐岩、尾立、蓮台、柴巻、円行寺、三谷、七ツ淵、重倉、久礼野）
- ・ 調査対象：上記地域にお住まいの集落代表者 59 人

〔 4 〕 実施方法

- ・ 配布回収：郵送配布、ヒアリング時に調査票回収
- ・ 調査機関：平成 25 年 7 月 20 日～平成 25 年 9 月 6 日

〔 5 〕 回収結果

全調査対象者 59 名分の結果である。

〔 6 〕 調査結果の見方

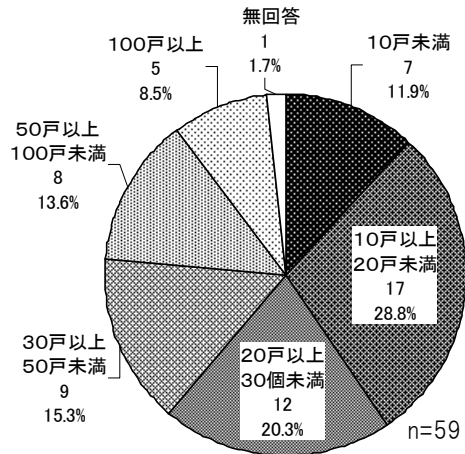
- ・ 全ての設問について集計結果を表及びグラフで整理を行う。
- ・ 集計結果におけるパーセント（％）表示は、全て小数点第 2 位を四捨五入しており、表示の比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の設問では、比率の合計が 100%を越える場合がある。
- ・ ヒアリングにて得た回答内容は、概ねの内容ごとにカテゴリに分類している。
- ・ 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないものである。
- ・ グラフおよび表の n 数(number of case)は、有効標本数(集計対象者総数)を表している。
- ・ 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合がある。

2. 調査結果の内容

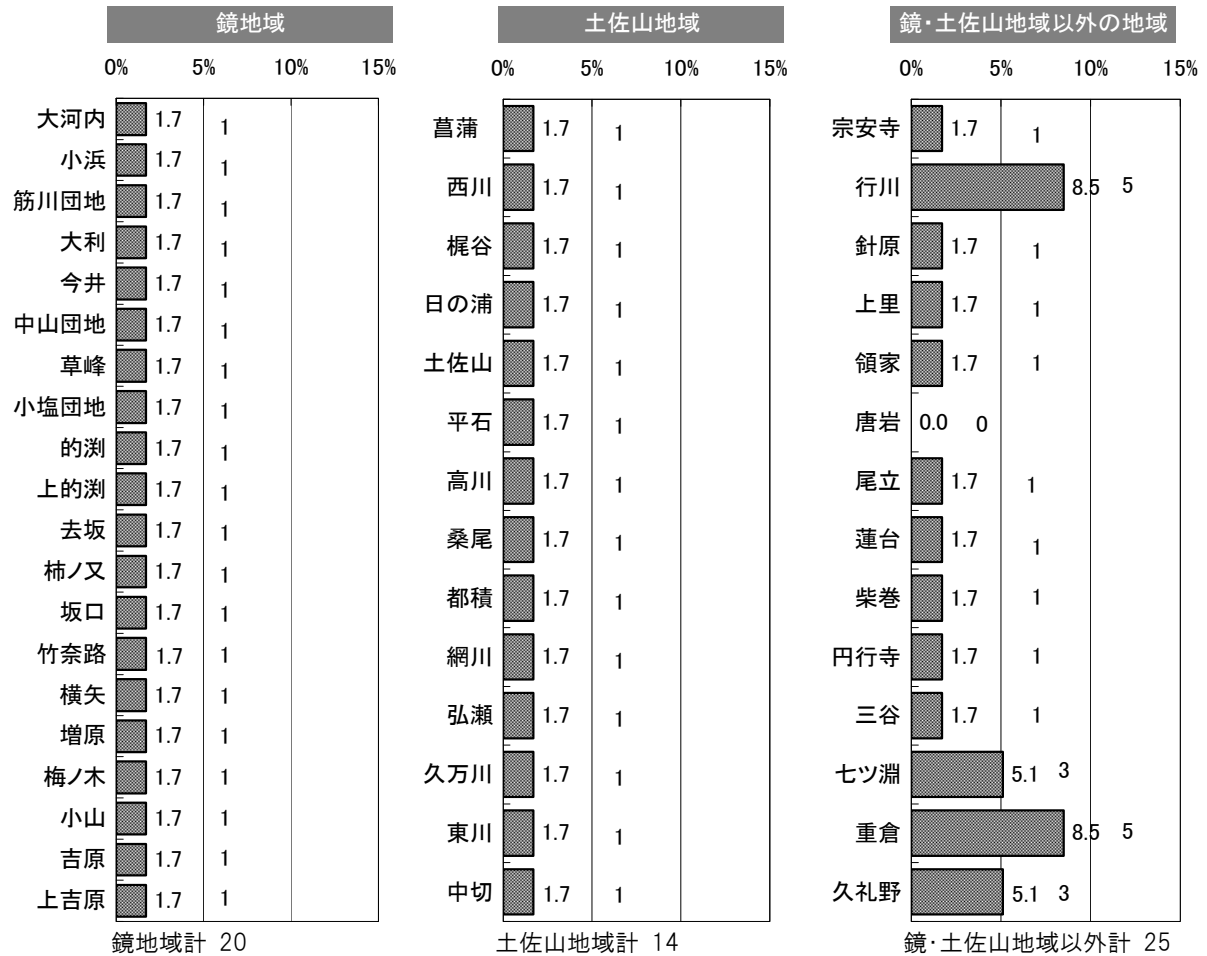
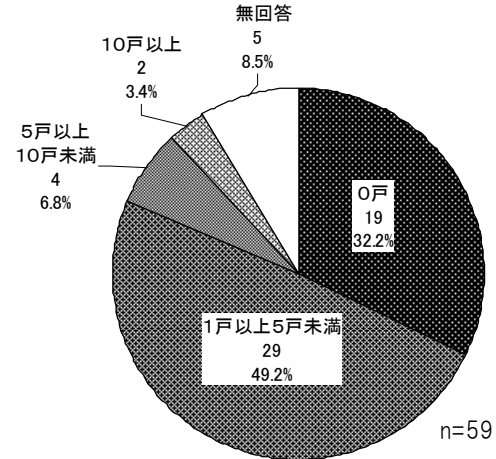
〔1〕 集落（町内会等） 集落の代表者について

問1 あなたの集落（町内会等）の名称とおおよその戸数を教えてください。
また、そのうち、家はあるが入院等の事情により日頃集落で生活していない戸数を教えてください。

集落（町内会等）の戸数



その内、主に集落で生活していない戸数

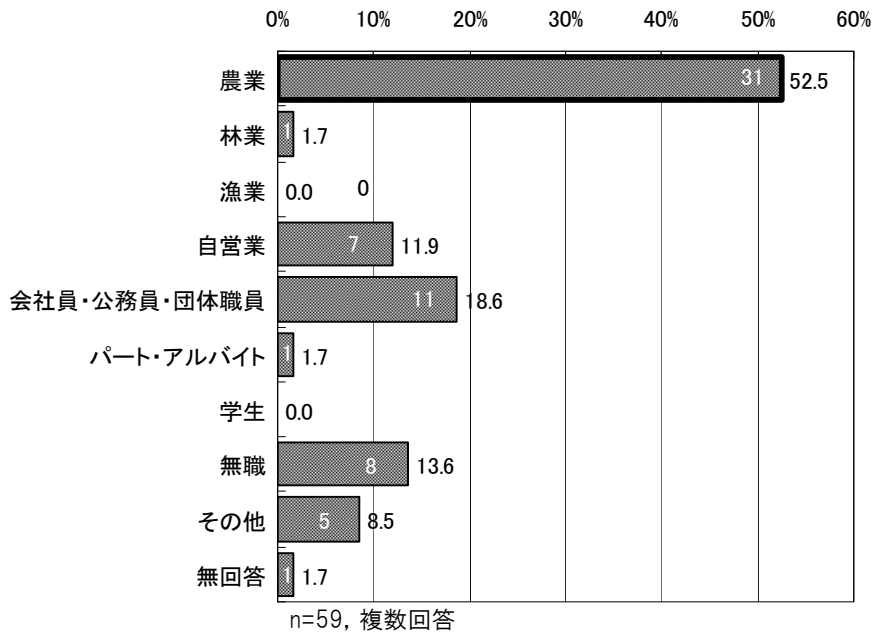


※数字は、左側が%、右側が実数を示す

n=59

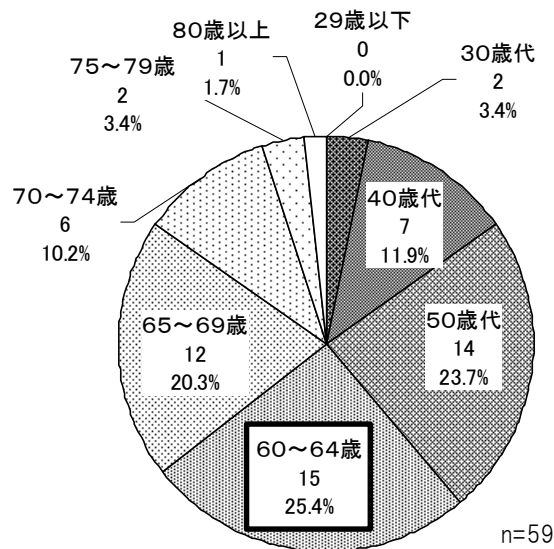
問2 あなたの職業、年齢、性別、代表としての在任期間について、次の中から選んで数字を 印で囲んでください。

職業



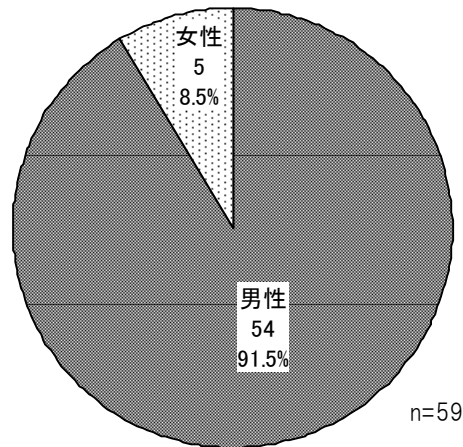
職業については、「農業」が52.5%で最も高く、次いで「会社員・公務員・団体職員」が18.6%、「無職」が13.6%となっている。

年齢



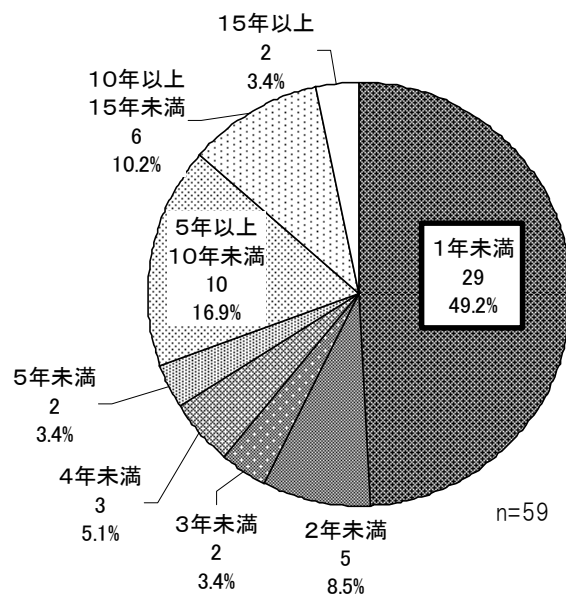
年齢については、「60~64歳」が25.4%で最も高く、次いで「50歳代」が23.7%、「65~69歳」が20.3%となっている。

性別



性別については、男性の代表者が54名、女性の代表者が5名となっている。

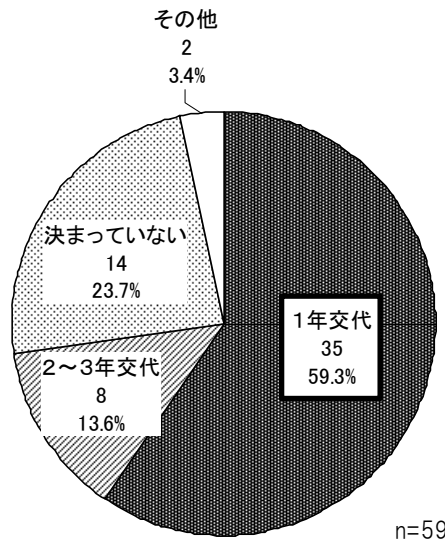
代表としての在任期間（平成25年7月現在）



在任期間については、「1年未満」が49.2%で最も高く、次いで「5年以上15年未満」が16.9%、「10年以上15年未満」が10.2%となっている。

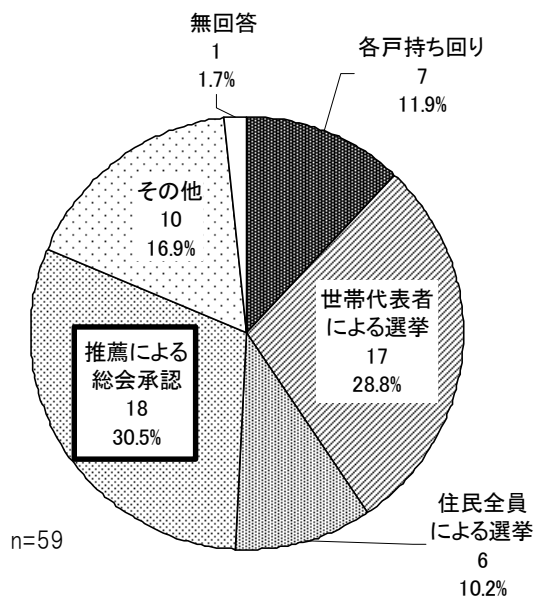
問3 あなたのお住まいの集落(町内会等)の代表者の任期と選任方法として当てはまるものを、次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

任期



集落代表者の任期は、「1年交代」が59.3%と最も高く、次いで「決まっていない」が23.7%となっている。

選任方法



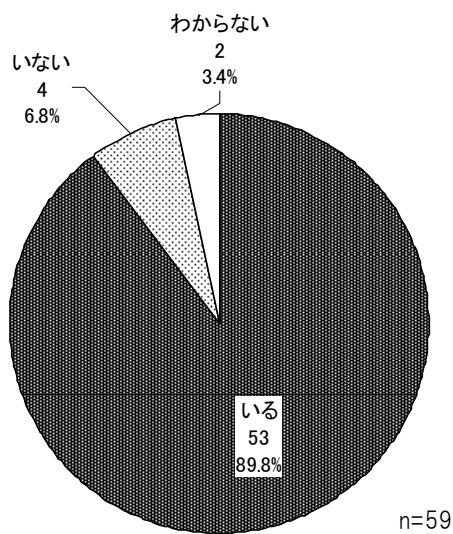
選任方法は、「推薦による総会承認」が30.5%と最も多く、次いで「世帯代表者による選挙」が28.8%となっている。

【その他の主な回答内容】

- ・話し合い
- ・くじ引き

問4 集落（町内会等）の「代表者の後継者」は集落内にいますか。
次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

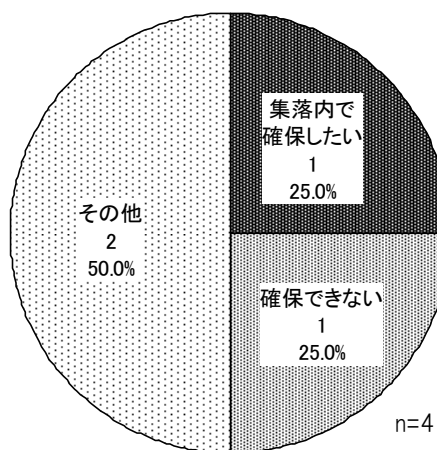
後継者の有無



53の集落において、「後継者がいる」と回答している。

問4 - 1 今後、後継者がいない場合、どのようにして確保したいと考えていますか。
次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

後継者がいない集落における後継者の確保方法



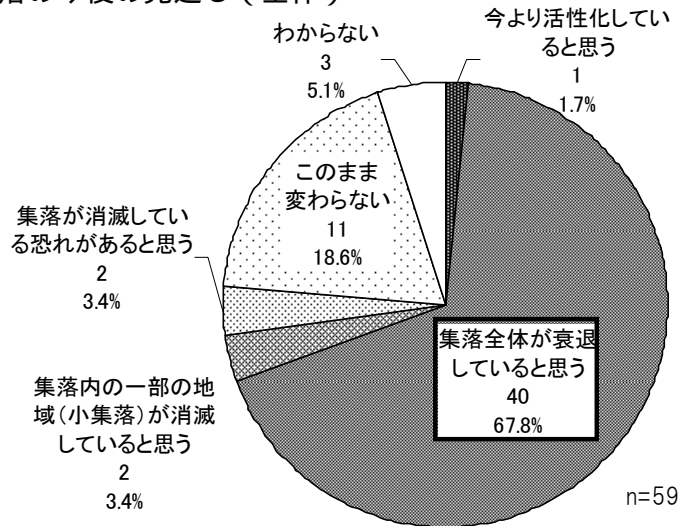
【その他の回答内容】

- ・自分がする
- ・難しい

〔 2 〕 集落活動等について

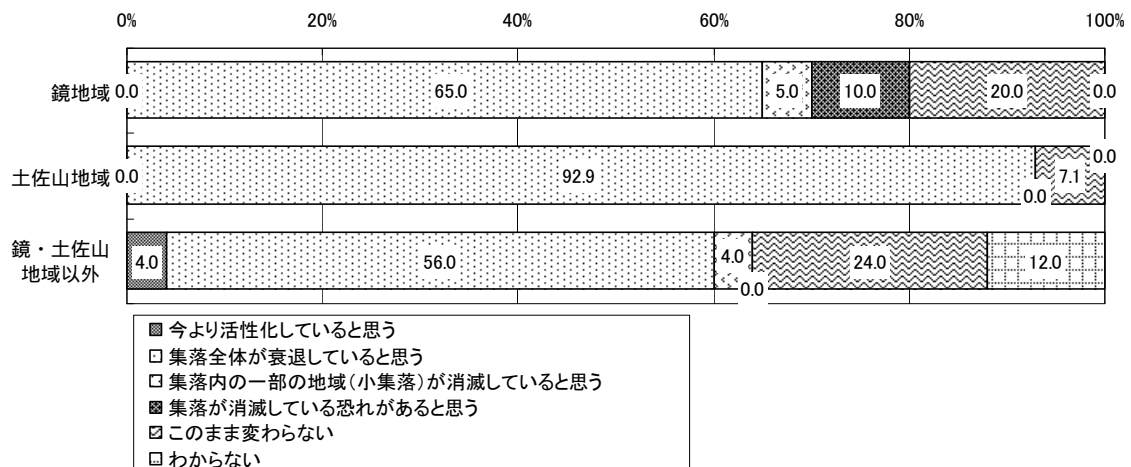
問5 今後（およそ10年後）お住まいの集落（町内会等）がどのようになっていると思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んで数字を印で囲んでください。また、そう思う理由についてお聞かせください。

集落の今後の見通し（全体）



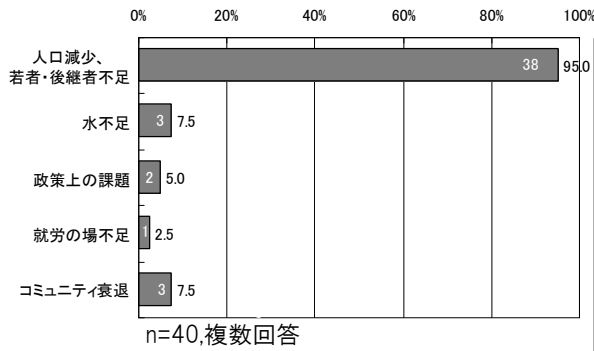
集落の今後の見通しは、40集落で「集落全体が衰退していると思う」と回答しており、次いで、「このまま変わらない」が11集落となっている。

集落の今後の見通し（地域別）



土佐山地域において、「集落全体が衰退していると思う」が92.9%と最も高くなっている。また、鏡地域においては、「集落が消滅している恐れがあると思う」との回答が10.0%ある。

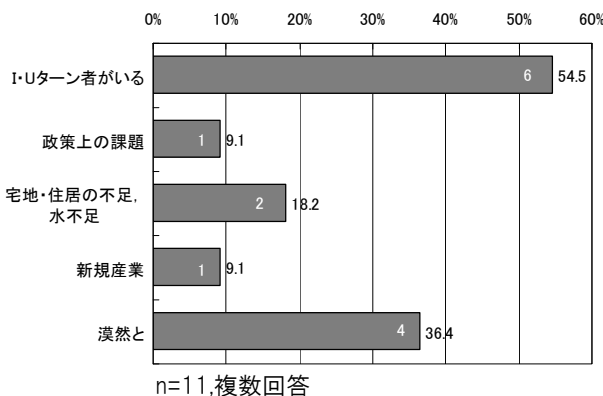
「集落全体が衰退していると思う」理由



カテゴリ	主な意見
人口減少、若者・後継者不足	人口が減っていく。若者が転出していく。
	高齢者が多く、子どもが少ないため。
	70歳以上の高齢者が多い。後継者も帰ってくる見込みもない。人口が減少していると思う。 一人住まいの家があり、後継者が県外にいるため、人口が減少すると思う。
水不足	飲料水の確保が困難
	外からの移住は、水の問題が一番大きい。
政策上の課題	国や都会が発展したが、地方は衰退する一方であり、国が地方をフォローしなかった結果であり、国の責任は大きい。 Uターンで帰ってきてても収入を得ることができない。ユズくらいしか収入を得られない。昔は春の筍、梅、ショウガ、米を輪作して収入を得ていたが。国の食糧制度がしっかりしていれば、昔のように収入を得られたと思う。
	就労の場不足
コミュニティ衰退	独身者が多い→今後の地域参加に不安が残る。
	若者はいるものの、横のつながりはあまりない。
	年寄り(老人)と若手(50代)との意見がなかなかみ合わないため、何事も思うように進まない。そのため、集落内でのまとまりが悪い。また、若手も行事等に参加しようとする意欲が欠けていると思う。

「衰退している」理由として、「人口減少、若者・後継者不足」が95.0%と最も多く、次いで、「土地・水不足」「コミュニティ衰退」が7.5%となっている。

「このまま変わらない」理由

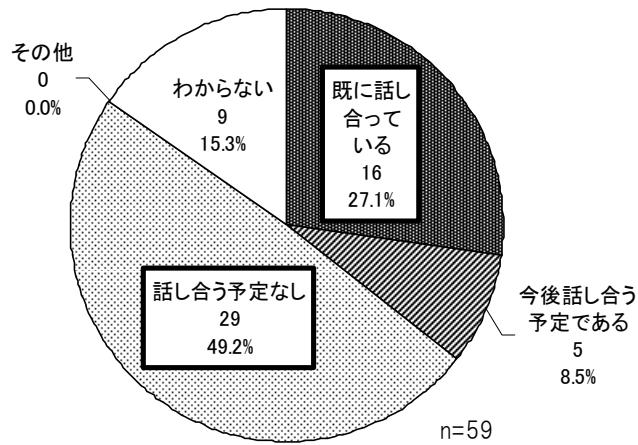


カテゴリ	主な意見
I・Uターン者がいる	現在の住人の息子等が帰ってきて、世代交代している。
	高齢化はしているが、各世帯とも子どもが帰って来たりしているため、10年後でも変わっていないように思う。
	空き家ができて借主がいるため、人の入れ代わりがあっても戸数は減少しないと思うため。
	子どもが就職し出ていき、高齢者も増えて亡くなっていくけれども、新しい宅地ができたので人が入ってきそう。 若者定住を目的として造成された新興団地で若い世代が多いので、10年経っても変わらないと思う。
政策上の課題	市街化調整区域のため、新たな家もできない。
宅地・住居の不足、水不足	土地、住居がない、水がないため、新しい人を受け入れる余地がない。 新しい家が建つスペースもなく、新しい人が入ってくることもない。住民自体は高齢化してくるだろうが変化もない。
新規産業	集落が協力して、竹の子や四方竹の加工組合を立ち上げており、Uターンで帰ってくる子どもたちの収入(仕事)が一定あるため、衰退することはないと感じている。
漠然と	地区内の住民の年齢層から見ても、あと10年くらいは現状を維持できると思う。
	若者がいないため後継者がおらず、高齢者が多いので今後人口は減少すると思うが、集落としては現在と変わっていないと思う。

「I・Uターン者がいる」が54.5%と最も高くなっている。

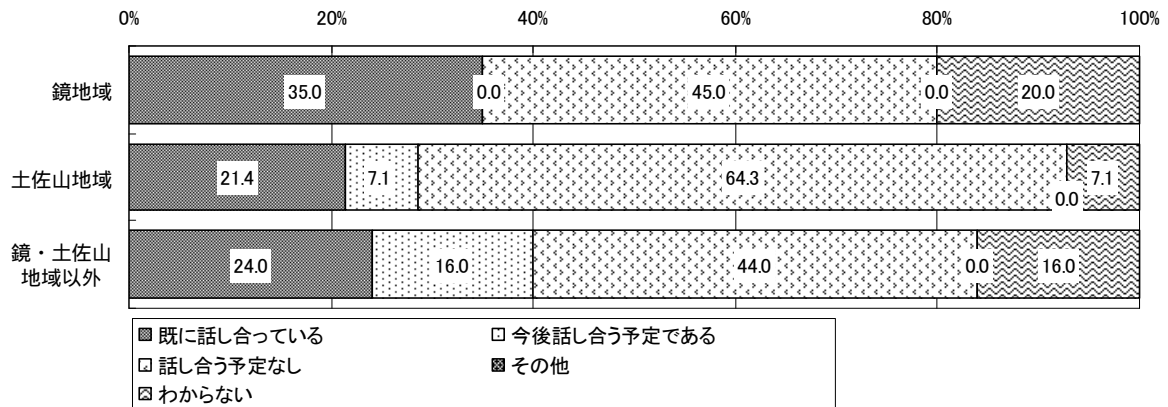
問6 今後の集落（町内会等）の将来像について、現在、集落全体で話し合いを持っていますか。次の中から1つ選んで数字を印で囲んでください。

話し合いの状況（全体）



「既に話し合っている」集落が16集落となっている。一方で、「話し合う予定なし」と回答した集落が29集落となっており、約半数を占めている。

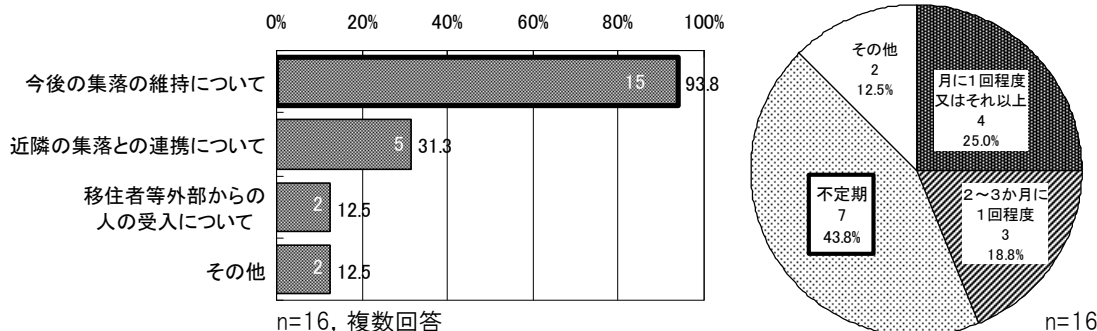
話し合いの状況（地域別）



いずれの地域も「話し合う予定なし」の回答が最も多くなっている。鏡地域では、「既に話し合っている」集落が35.0%となっている。

問6 - 1 その話し合っている内容について、当てはまるものを全て選んで数字を印で囲んでください。また、その話し合いの頻度もあわせて教えてください。

話し合いの内容と頻度



【その他の回答内容】

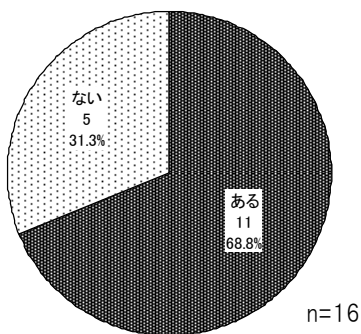
- ・各家庭の後継者について
- ・外部から人材を受け入れる施設について

既に話し合っている16集落のうち、15集落において「今後の集落の維持」について話し合いを持っている。

話し合いの頻度は、「不定期」が43.8%と最も高い。

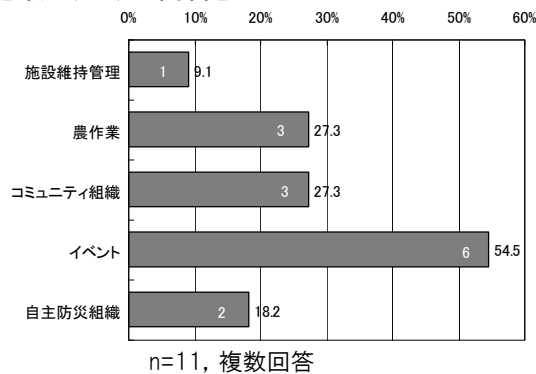
問6 - 2 集落（町内会等）で話し合った結果、集落（町内会等）の活性化に向けた新たな取組が始まった例がありますか。

話し合った結果始まった新たな取り組み



新たな取り組みを始めた集落が11集落あり、主にイベントや農作業における取り組みを実施している。

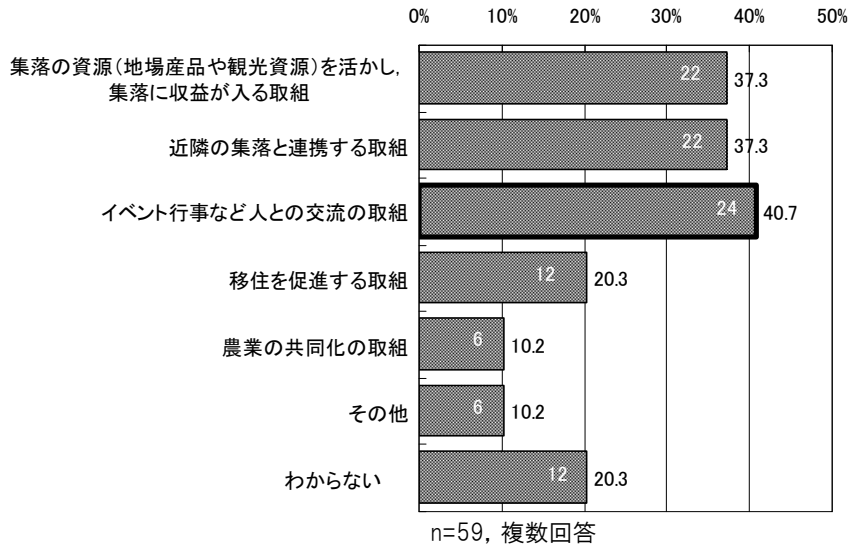
【取り組みの内容】



カテゴリ	主な意見
施設維持管理	なかよし公園の整備、ハイキングコースの維持管理。
農作業	集落営農でぎんなんの収穫を始めた。 集落営農組織の設立に取り組んでいる。H24年から茶園の整備を始めている。水田と茶園を共同で運営している。 特区を利用してどぶろくの醸造・販売を行っている。
コミュニティ組織	地区の中でみんながもっとコミュニケーションがとれて、元気になれるように何かをしようということで、最近「四季会」という組織を作った。 定期的に区会を開催している。
イベント	平成22年に建設した水車小屋を活用し、量販店のイベントでそば打ち体験やアメゴのつかみ取りを行った。 健康講座：町内会で毎月第2日曜日を健康ふれあいデーとして実施 百歳体操：公民館活動
自主防災組織	山の木を伐採して平場にして、災害時の避難所を造る構想もある。この場所は、南海地震発生時に、他の地域の団体が一時避難場所として利用してもらうことも考えている。

問7 お住まいの集落(町内会等)を活性化するには、どのような取組が効果的だと思いますか。当てはまるものを次の中から3つまで選んで数字を 印で囲んでください。また、そう思う理由について教えてください。

集落の活性化に効果的と思われる取組と理由



【主な理由】

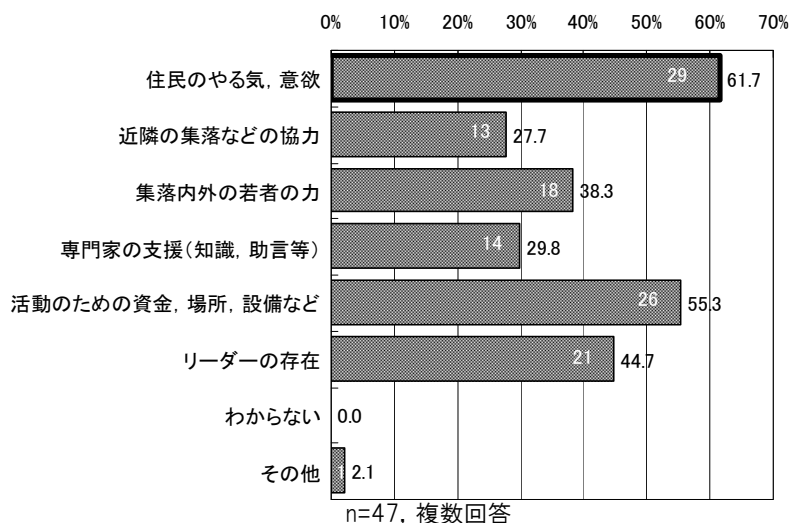
1. 集落の資源(地場産品や観光資源)を活かし、集落に収益が入る取組
山菜を取りにくる人が多く、それらを活用し、ビジネスにできないだろうか。
既に始めてはいるが、集落全体で共同で行うことができるので。
集落の資源として現在は、タケノコやブルーベリーがあるが、地区の方が個人でやっていて、集落での取組とはなっていない。
これといった資源はないが、何かをして、また、何かを探しても収入を得られるようにしたい。草刈りなどもその一つかもしれない。
農業が主体の集落なので、農業で今以上に収入が得られる取り組みが必要である。
春は梅祭りなど集落の資源を活かせば集落に収入が入り、集落の活性化につながる。都会の人でもインターネットで色々情報を収集している。また、年金生活の人は暇があるので行事に参加してもらえる。
2. 近隣の集落と連携する取組
一つの集落でできることは限界がある。近隣の集落と力を合わせることが効果的と思う。
高齢化で人が減っているため、近隣との協力が必要。
近隣の集落と連携すれば、人員の確保もでき、共同作業が維持していけると思うため。
草刈りや、しずえ切りが高齢化により難しくなっており、作業的な交流の必要性を感じる。
3. イベント行事など人との交流の取組
イベント行事などでの人との交流を一番大切に考えている。
人と人とのつながりを持つため。
夏祭りを現在しているが、花火の打ち上げなどもあって集落外から人が来てくれているので。
行事がないと人とのつながりが無い。集まる場があれば、近況などを話す場となる。
交流をすることにより賑わいが生まれる。

4. 移住を促進する取組
農業している人も少なくイベントできるような場所もない。町から近く水道施設もあるので利便性も高いので、宅地ができれば人が移住してくると思う。
人口が増えないと話にならない。手取り早いのは住宅を建てることである。市営住宅(6戸)が建った時は、集落が活性化したと感じた。
若者に来てもらい、交流をして活性化につなげたい。
集落に人を増やしたい。人が増えれば活性化につながると思う。
5. 農業の共同化の取組
「竹の子」、「四方竹」の生産は個々で行っているが、地区民で加工組合として、出荷に向けた作業等に共同であっている。共同で行うことで、地区のコミュニケーションも良い。
既に地区内では部分的に共同化が進んでいるため。
耕作地を荒らさないためには、集落営農しかない。現在もユズの収穫作業の手伝いをしてもらっている。将来的には、農作業を消毒班・収穫班などに分業化して、受託事業にしていくことも考えている。
人が少なくなってきた。高齢化で労働力不足となっているため、集落協定すらできなくなりそうである。そのため、農業の共同化の取組は活性化に有効と思われる。
6. その他
インフラ(情報基盤)の整備
住宅地の確保、または住宅の確保。
趣味のサークル活動による都市部との交流

集落を活性化するために効果的な取組は、「イベント行事など人との交流の取組」が40.7%と最も高く、次いで、「集落の資源(地場産品や観光資源)を活かし、集落に収益が入る取組」「近隣の集落と連携する取組」が37.3%となっている。

問7 - 1 「問7」で選択された活性化の取組をするには何が必要だと思いますか。当てはまるものを次の中から3つまで選んで数字を 印で囲んでください。

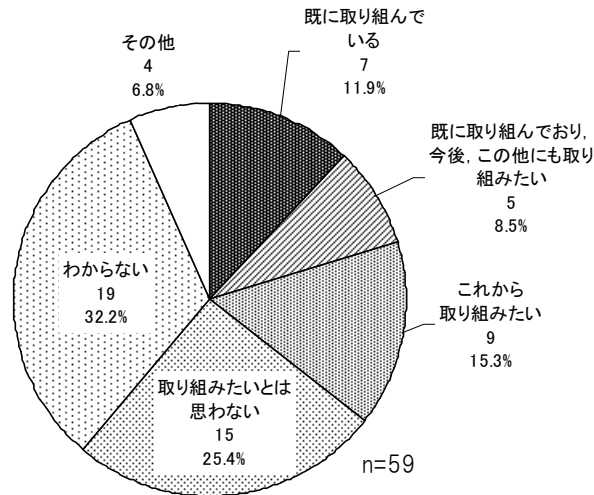
活性化の取組をするために必要なこと



活性化の取組に必要なことは、「住民のやる気、意欲」が61.7%と最も高く、次いで、「活動のための資金、場所、設備」が55.3%、「リーダーの存在」が44.7%となっている。

問 8 あなたの集落（町内会等）では、都市部の住民との交流イベントや特産品づくりなどに取り組みたいと考えていますか。次の中から当てはまるものを1つ選んで数字を 印で囲んでください。

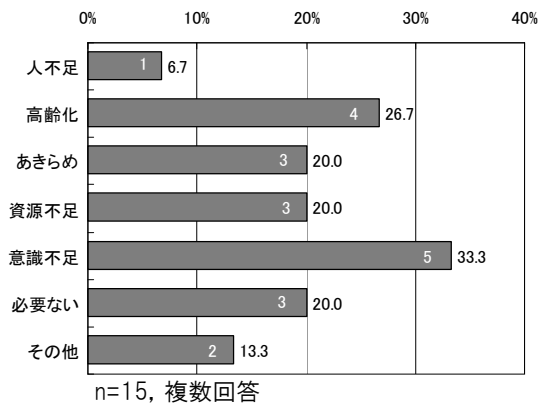
都市部の住民との交流イベントや特産品づくりの取組意向



「既に取り組んでいる」あるいは「これから取り組みたい」が35.7%を占めるが、一方で、「取り組みたいとは思わない」も25.4%の集落で回答している。

問 8 - 1 「取り組みたいとは思わない」「わからない」理由を教えてください。

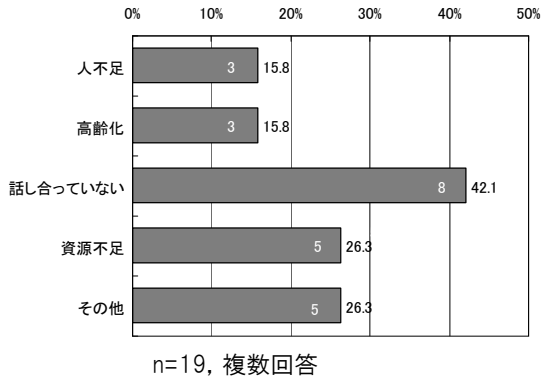
「取り組みたいとは思わない」理由



カテゴリ	主な意見
高齢化	高齢化。参加が少ない。また、住民の職業が違い時間が合わない。現在の集落の状況を見ると難しいと思うので。
	高齢者が多く、新しい取り組みは難しい。若い人は通勤することで就労が可能。
	高齢化で対応できない。現在行なわれているイベント等でもカラオケをする人も酒を飲む人もいなくなった。やりたくてもできない状態である。
あきらめ	取り組んでも来てくれる人はいないと思う。
	やりようがないため。
資源不足	イベントになるものがない。できそうなことがない。高齢者はやる気がない。
	労力や地区の特産品がない。農業で生活している人が少ない。
	条件が整わない。特産品や共同化する施設がない。
意識不足	地域に見どころ（資源）がない。
	住民の個人的な意識が高く、他住民との交流に取り組もうとしない。考え方を平等化しようとする。また、地内での近隣の地区ともあまり交流しようとする。閉鎖的である。
	商品の開発というような話が例で出たが、生産品はJA、組合組織で加工品を作っており、個人や集落単位では行っておらず、そのような考えがないと思う。
必要ない	取組をしようという発想まで至っていない。
	集落単位での取組であり、都市部との交流は必要だとは思わないから。
	家族労働や地域の手伝いで充分対応できており、都市部と連携を図るような必要がない。
その他	イベント行事を行なわなくても、集落は維持できる。
その他	団地なので思わない。

「集落内の住民の意識不足」の回答が、33.3%を占めており、次いで、「高齢化」や「資源不足」などの理由となっている。

「わからない」理由

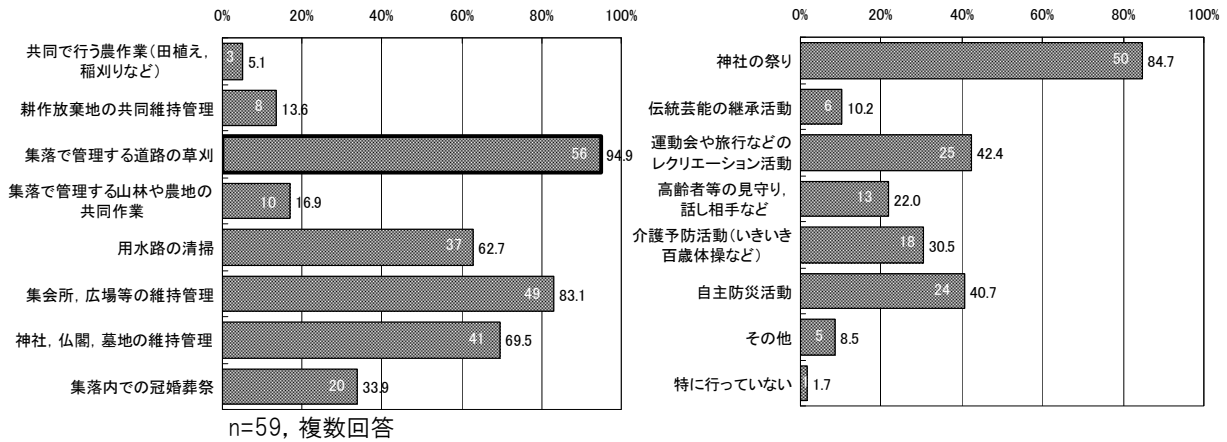


カテゴリ	主な意見
人不足	少ない戸数では、取り組もうと思っても難しい。
	交流イベントを行うにしても、地区で準備や段取りをしなくてはならないが、少ない戸数では大変で、できないと思う。
高齢化	交流ができないため(高齢化・人口減)。
	高齢化もあり難しいのではないかと。
	高齢化しており、新しいことを始めるのは「煩わしい」「面倒くさい」という意見が大半を占めている。
話し合っていない	まだ町内会として話し合いもしていないため。
	自治会が開催するイベントがなく、また、そういった話し合いもない。
	地区だけでやるのとは違う。そういう声も上がっていない。
資源不足	地域のほとんどが山林であるため、交流する場所も少ない。
	特産品となるものが特にない。
	イベントになるものがない。できそうなことがない。
その他	まとまってするというより、個人個人ですると思う。
	イベントについても山の田舎だから農業関係が主体となると思うが、専業農家はいない。全てが兼業農家であるため取り組みにくい。
	ほとんどが会社員で構成されているため、わからない。
	地場産業(タケノコ・四方竹など)の特産品づくりなどは、地域の気運がまだ高まっていないのが現状である。

「わからない」と回答した理由で、集落内で「話し合っていない」という理由が42.1%と最も高い。

問9 現在、集落（町内会等）でどのような共同作業、活動を行っていますか。当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

集落で行っている共同作業・活動（全体）

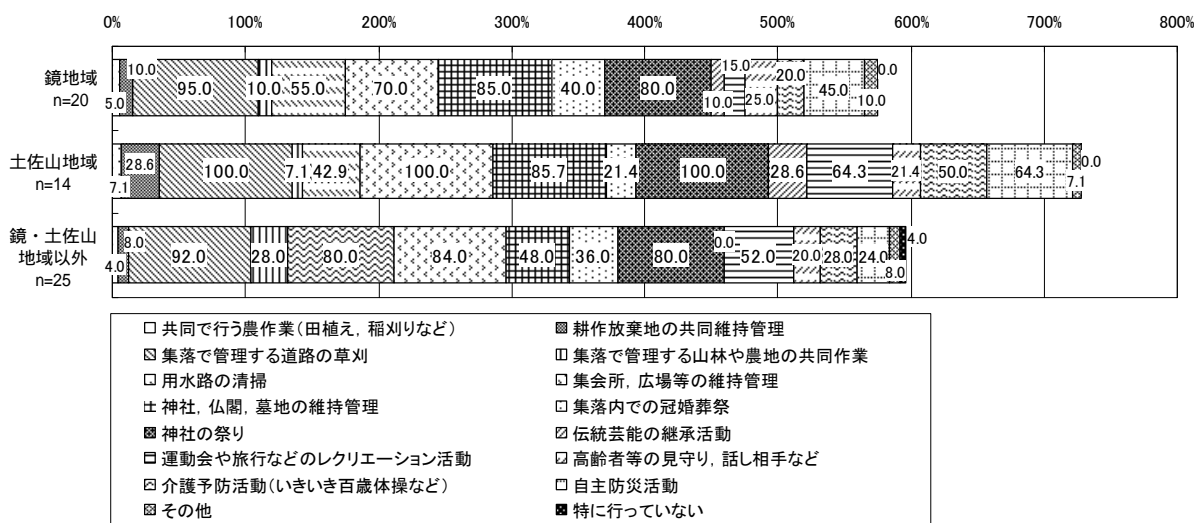


【その他の主な意見】

- ・ 月1回20日に地区会を開催
- ・ 水道施設の維持・管理（清掃作業等）
- ・ 忘年会等
- ・ 昼食会、2ヶ月に1回

「集落で維持管理する道路の草刈り」が94.9%と最も高く、次いで、「神社の祭り」が84.7%、「集会所、広場等の維持管理」が83.1%となっている。全体的に「維持管理」に関する内容が多くなっている。

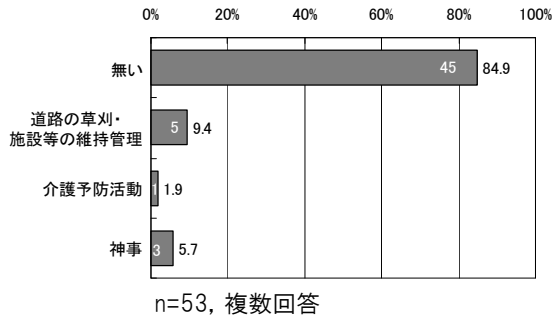
集落で行っている共同作業・活動（地域別）



地域別における共同活動・作業内容に大きな差は見られないが、土佐山地域においては、「自主防災活動」が64.3%、「介護予防活動」が50.0%と他地域より高い回答となっている。

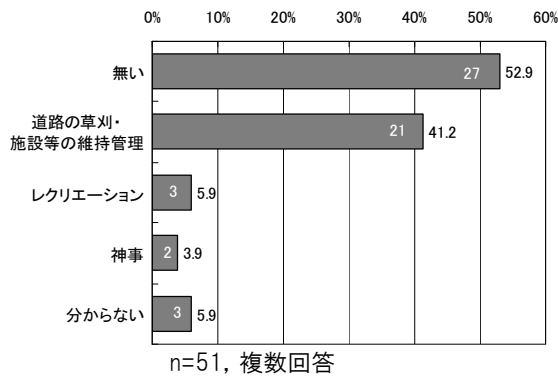
問 10 問 9 で選択した活動のうち、近い将来（1～3年程度）に共同作業（活動）が困難になるとと思われるもの、今後（4年～10年程度）困難になるとと思われるものを、教えてください。また、共同作業（活動）の継続が困難になった場合、どのように対応しようと考えているのか教えてください。

近い将来困難となる共同作業



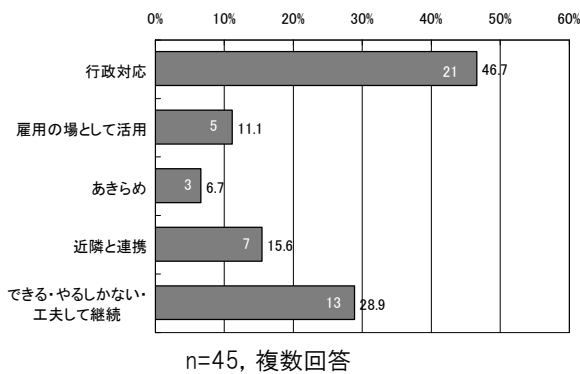
カテゴリ	主な意見
道路の草刈・施設等の維持管理	簡易水道施設の管理、塩ビパイプのメンテナンス等、素人レベルでは管理が難しいものが多い。 県道の草刈り(市道については可能と思われる)
介護予防活動	介護予防活動への参加者の減少による。
神事	神祭「オナバリ」の中心となる青年(ミコシ、踊り等)が50代になっている。後継者となる若い青年が少なくなっている。

今後困難になるとと思われる共同作業



カテゴリ	主な意見
道路の草刈・施設等の維持管理	道路の美化活動(委託)が心配。4～5人でやろうと思っても難しい。 集落で管理する山林や農地の共同作業。 集会所、広場等の維持管理、神社、仏閣、墓地の維持管理。
レクリエーション	運動会や旅行などのレクリエーション活動
神事	集落内での冠婚葬祭、神社の祭り
分からない	10年先は分からない(人口減・高齢化)

困難になった場合の対応

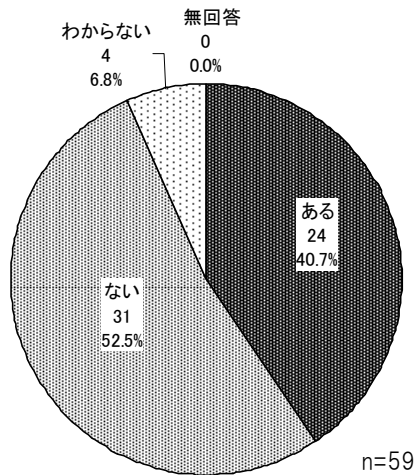


カテゴリ	主な意見
行政対応	市がしなければならぬ事をボランティアでやっているの、市で対応していただければ。 道路の草刈りは、県道は対応が困難である事を伝えるしかない。 民間業者や行政をお願いすることも選択肢として出てくるかもわからない。
雇用の場として活用	継続ができなくなった作業等を仕事として雇用の場を作ればよい。共同作業を雇用に変わる仕組みづくり。 参加が難しい人は個人的に人を雇うなどして対応する。 業者に対応を依頼する。
あきらめ	地域での連携がとれなくなってきており、高齢化も進んでいるので、どうしようもない。
近隣と連携	近隣の集落に応援してもらおう。もしくは一緒に活動する。 人が減っても、できる範囲でやっていくが、物理的に無理な近隣の地区に応援をお願いするか、人を雇うしかない。 高齢化等により地元だけでは管理できないので、他の地区などに手伝ってもらい、それに地元住民が多少なりとも参加する程度しかできない。
できる・やるしかない・工夫して継続	今まで地域で話し合ったことはない。やめることのできないものは、それなりに工夫してやるしかない。 もし困難になったとしても、活動のやり方、内容、量などを工夫していくしかない。 大丈夫。続けられる。

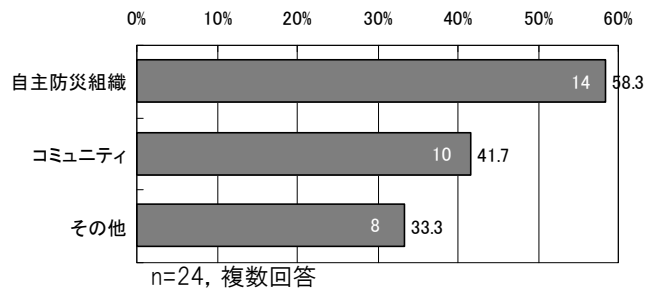
困難となる共同作業については、近い将来、今後も「無い」と回答した集落が多数を占める。また、困難となった場合は「行政対応」と回答する集落が46.7%ある一方で、「工夫して継続」と回答した集落も28.9%ある。

問 11 集落内に地区会、町内会以外で主に住民がメンバー、又は主に住民以外がメンバーとなっている団体（NPO、自主防災組織、地域おこしの会、特産品づくりの会等）はありますか。次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

住民がメンバーとなっている団体



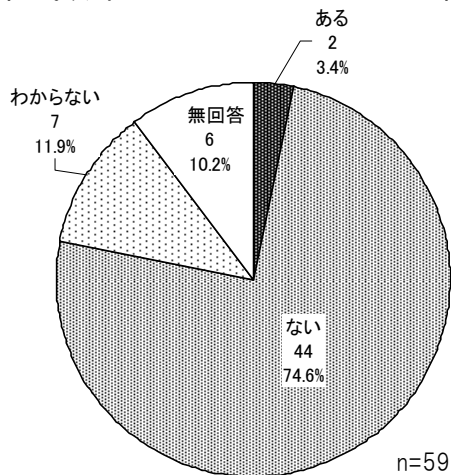
【団体の種類】



【その他の団体の主な例】

- ・消防団
- ・どぶろく生産者の組織

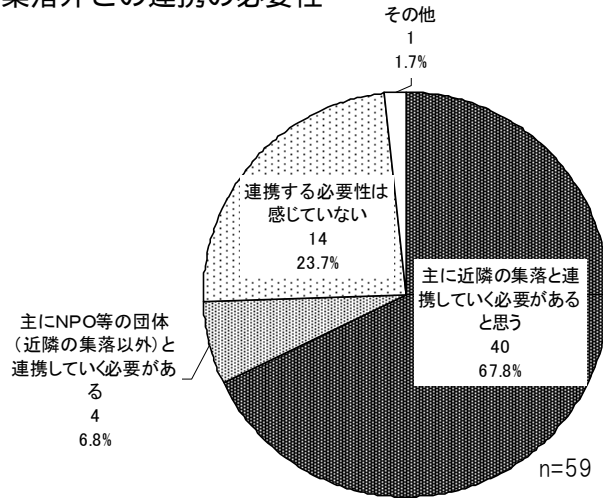
住民以外がメンバーとなっている団体



住民がメンバーとなっている団体の多くは「自主防災組織」で、58.3%を占める。
 住民以外がメンバーとなっている団体は、74.6%の集落で「無い」と回答している。

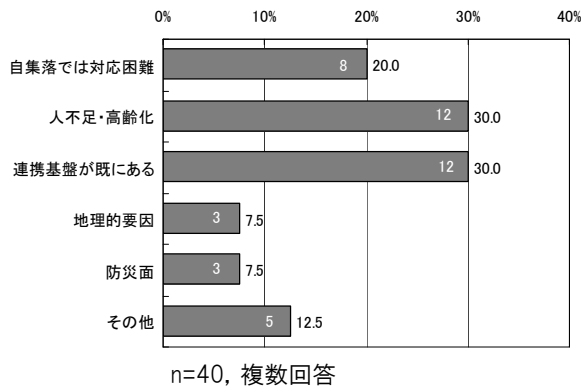
問 12 今後の集落外との連携の必要性についてどのように思いますか。当てはまるものを1つ選んで数字を 印で囲んでください。

集落外との連携の必要性



問 12 - 1 問 12 の選択肢を選択された理由をお聞かせ下さい。

「近隣の集落と連携していく必要があると思う」理由

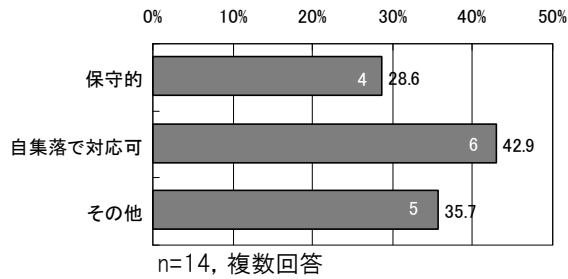


カテゴリ	主な意見
自集落では対応困難	リーダー的存在が少ない。町内会を脱会する人もでてきている。
	自分たちの集落内だけでは、何かしようとしても難しい。
人不足・高齢化	集落の人口が減少傾向であり、住民も高齢化している。
	高齢化による活動の衰退のため、連携していかないといけない。
既に連携基盤がある	道路の草刈りは、すでに連携している。
	現在もユズの収穫作業や四方竹、筍で連携している。
	神社や部落所有の山の管理を現在もやっている。
地理的要因	連携するにしても、生活圏の近い近隣の集落でないと小回りが利かない。遠い集落では意味がない。
	地震などの突発的な災害時もインフラを共有している近場でないと効果的でない。
防災面	火災があった場合にどうするか懸念を抱いており、訓練等含めて、防災面での連携が必要。
	集落の人口は今後減少していくと思うので、災害時などの近隣集落との連携体制は必要。
その他	行政に対する意見発信のためにも、自治会同士が連携することが必要である。
	同じ団地内だから当然。 情報交換を行い、他の集落のやり方を学んでいくなどすれば良いと思う。

「NPO等の団体と連携していく必要がある」理由 (n=4)

主な意見
農作業(ぎんなんのこと)の際に、近隣の人の助けを借りないといけない。
住宅を建築して、移住者等に住んでもらうため。
前向きに活動している人々を参考にしたい。
中山間地域と沿岸地域、異種の地域交流はそれぞれの地域の連携に役立ってくると思う。現在、参加している「よこせと海辺のにぎわい市」への参加継続は、交流などに効果がある。

「連携する必要性は感じていない」理由



カテゴリ	主な意見
保守的	保守的であるため。
	近隣集落が限られており、以前誘って断られた経過もある。
自集落で対応可	今の集落のメンバーで必要な活動はできている。
	団地内のことであるため、(草刈等)地域外との連携の必要性は感じていない。 生活に不便や支障をきたしていない。高齢者の1人暮らしも家族が面倒をみている。
その他	日頃からあまりお付き合いがない、少ないが、それで特に困っているようなことがない。
	2月に1度は地区で集まってイベント等をしている。これ以上何かやると負担になる。
	新興団地で近隣の集落との関わりも薄く、高齢化も進んでいないため。

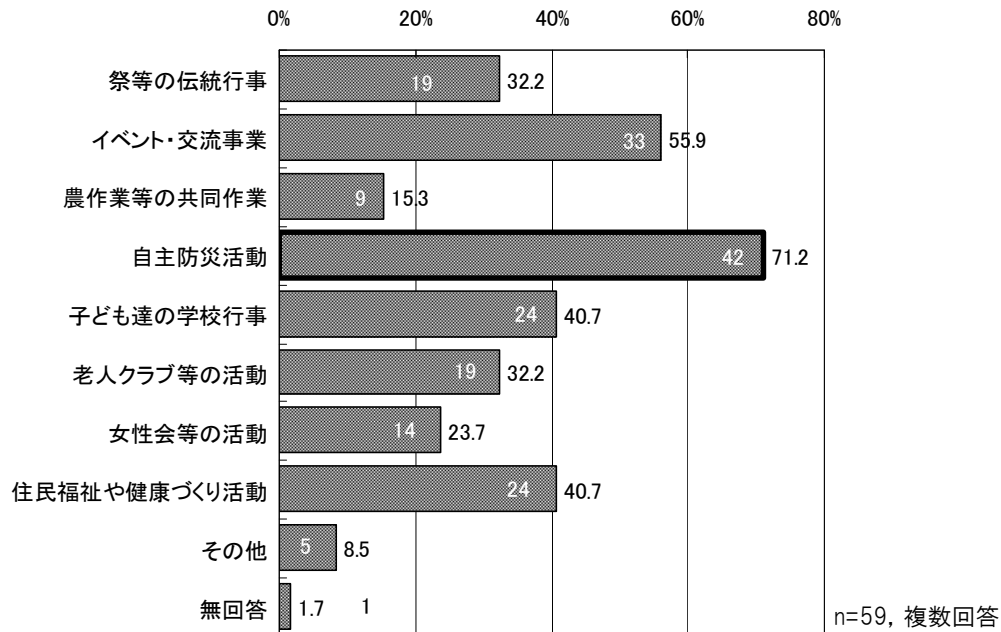
67.8%の集落で、「近隣の集落と連携していく必要がある」と回答している。一方で、23.7%の集落で「連携の必要性は感じていない」と回答している。

「連携する必要がある」理由は、「自集落で対応困難」「人不足・高齢化」の理由があるとともに、「既に連携している」状況も伺える。

「連携する必要性を感じていない」理由に、「保守的」や「自集落で対応可」などの理由が挙げられている。

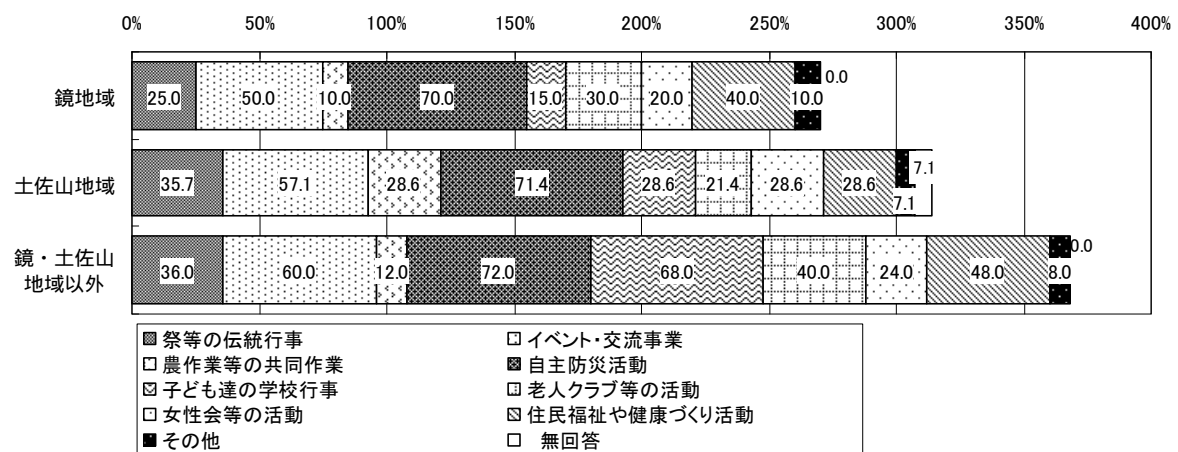
問 13 今後、近隣の集落（町内会等）と連携した活動や行事を行うとした場合、どのような活動・行事であれば連携してもいいと思いますか。当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

近隣の集落と連携してもよい活動・行事（全体）



「自主防災活動」が71.2%と最も高く、次いで、「イベント・交流事業」55.9%、「子ども達の学校行事」「住民福祉や健康づくり活動」40.7%となっている。

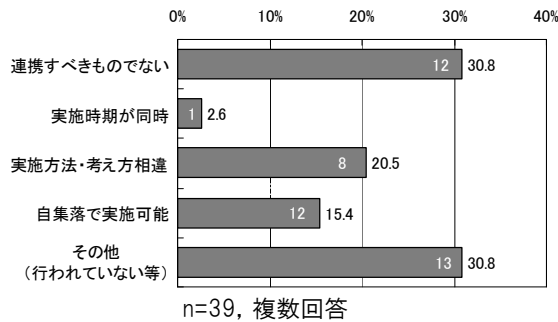
近隣の集落と連携してもよい活動・行事（地域別）



地域別における活動・作業内容に大きな差は見られないが、鏡・土佐山地域以外の地域においては、「自主防災活動」が68.0%と他地域より高い回答となっている。

問 13 - 1 問 13 で選択しなかった活動や行事について、それらを選択しなかった理由をお聞かせ下さい。

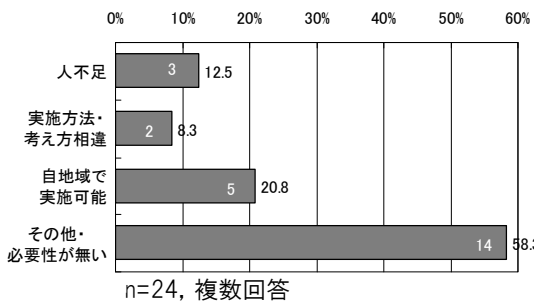
近隣と連携しない活動・行事「祭等の伝統行事」



カテゴリ	主な意見
連携すべきものでない	神社のお祭り等は地区内で行うことが当然であり、他人の力は借りたくない。借りるべきでない。
	お祭りは、他地区と一緒ににはできないと考えている。
実施時期が同時	神社のお祭り等は地区行事であり、氏子という考えもあるので、自分の地区で行っていくものと考えている。
	どの集落も同じように同じ時期に実施しているため、連携しづらい。
自集落で実施可能	みんな元気でやっているの、今のところ連携する必要はない。地域でもそういう意見もない。
	集落単位の活動ではなく、もともと地域全体で取り組んでいるため。
その他	お祭りが無い。
	距離的な問題がある。
	集落単独で行うものがない。

祭等の伝統行事については、「連携すべきでない」が最も高く 30.8% を占める。

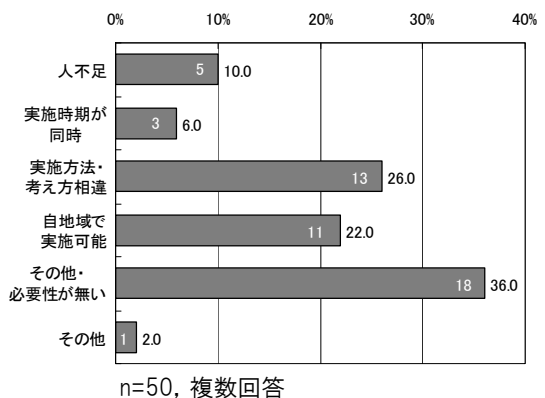
近隣と連携しない活動・行事「イベント・交流事業」



カテゴリ	主な意見
人不足	活動の対象人数及び活動に参加する人数が極めて少ないため、思うように活動ができない。
	できる状況ではない。
実施方法・考え方相違	個々では連携を考えている人もいるかもしれない。
自集落で実施可能	集落単位の活動ではなく、もともと地域全体で取り組んでいるため。
その他・必要性が無い	イベントは行っていない。
	イベントや老人クラブの活動は鏡地域全体で取り組んでいる。
	イベントや農作業は、共同で行うような状況ではなく、まだそこまでする必要を感じていない。

イベント・交流事業については、「行われていない」「必要性を感じていない」などの回答が最も高く、58.3% を占める。

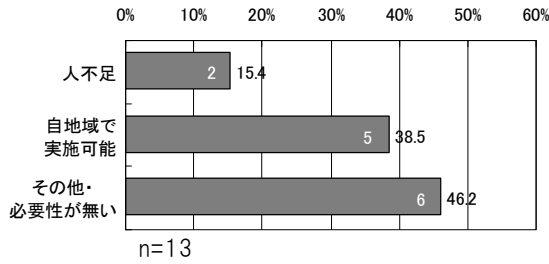
近隣と連携しない活動・行事「農作業等の共同作業」



カテゴリ	主な意見
人不足	農業をやっている人が少ないため難しい。
実施時期が同時	農作業の時期が、どの地区も同じであるため連携しづらい。
	農業等の共同作業は個々が経営者であり、作業的にも同時期に行うことになるので連携(共同)は難しい。
実施方法・考え方相違	農作業等の共同作業 個々の考えが違うため。
	お金の話がある。
自集落で実施可能	小規模農家であり、共同作業は難しい。
	今のところ何とかできると思う。個々にはあると思われるが、集落全体としては他の地区との連携がなくともやっていた。
その他・必要性が無い	現状では地区内に連携して活動しようという話もなく、考えもない。
	農業は、連携は困難である。

農作業等の共同作業については、「必要性がない」を除き、「実施方法・考え方の相違」が 26.0% を占める。

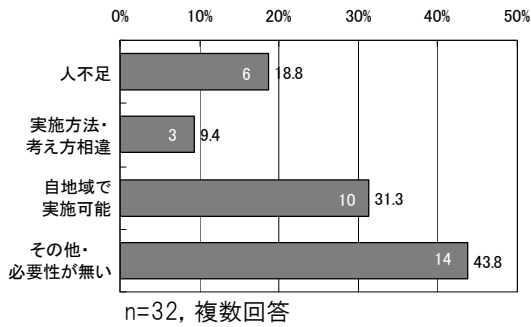
近隣と連携しない活動・行事「自主防災活動」



カテゴリ	主な意見
人不足	高齢化のため
自集落で実施可能	自分たちで何とかできる。今は人がある程度いるので、必要に迫られていない。
その他・必要性が無い	立ち上げる予定で、他と連携していくことになると思うが、現時点では、まだどんなものかも分からないので。

「自主防災活動」については、38.5%が「自地域で実施可能」と回答している。

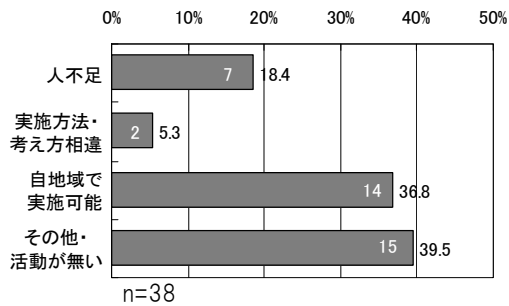
近隣と連携しない活動・行事「子ども達の学校行事」



カテゴリ	主な意見
人不足	子どもがいた以前は祭り等もあったが、今はいないため、子ども関連の選択はない。 子どもの数も減っており、運動会などに出ていく人もいなくなった。
自集落で実施可能	学校行事、老人クラブ、女性会等は、地域全体で取り組んでいる。
その他・必要性が無い	行事に関しては、学校に任せている。

「子ども達の学校行事」については、31.3%が「自地域で実施可能」と回答している。

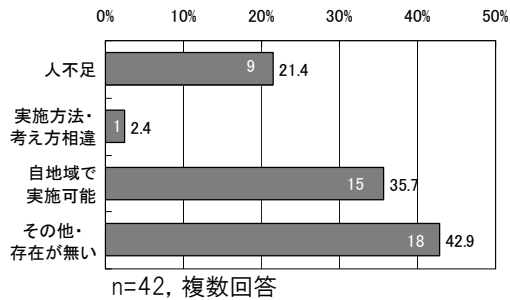
近隣と連携しない活動・行事「老人クラブ等の活動」



カテゴリ	主な意見
人不足	老人クラブ等の活動 加入者が減っている。勧誘してない。 世話役がいなくなり活動自体が縮小したため。 老人クラブはあるようだが、参加者がいない。
実施方法・考え方相違	それぞれやり方も違うため、連携するのは難しいと思う。
自集落で実施可能	個々にはあると思われるが、集落全体としては他の地区との連携がなくもやっつけている。 イベントや老人クラブの活動は地域全体で取り組んでいる。
その他・存在が無い	老人クラブや女性会などが存在しないから。 老人クラブ、女性会等は、昔は活動していたが、現在は活動されていない。

「老人クラブ等の活動」については、36.8%が「自地域で実施可能」と回答している一方で、「存在が無い」という回答も多い。

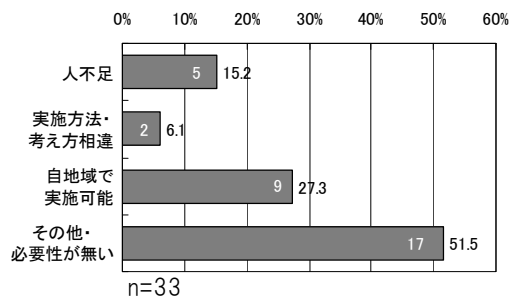
近隣と連携しない活動・行事「女性会等の活動」



カテゴリ	主な意見
人不足	女性会等 昔は婦人部があったが、人数も減ってなくなった。男女の区別なく全体で取り組まなければならない。
	女性会はあるようだが、参加者がいない。
	女性会については高齢化や担い手不足により会そのものが衰退している。
自集落で実施可能	自分たちで何とかできる。今は人がある程度いるので、必要に迫られていない。
	イベントや老人クラブの活動は地域全体で取り組んでいる。
その他・存在が無い	女性会等の活動 活動が存在していない。
	老人クラブ、女性会等は、昔は活動していたが、現在は活動されていない。

「女性会等の活動」については、35.7%が「自地域で実施可能」と回答している一方で、「存在が無い」という回答も多い。

近隣と連携しない活動・行事「住民福祉や健康づくり活動」



カテゴリ	主な意見
人不足	本業があつて、そこまで手がまわらない。
自集落で実施可能	自分たちで何とかできる。今は人がある程度いるので、必要に迫られていない。
その他・必要性が無い	活動が存在していない。
	めんどくさい

「住民福祉や健康づくり活動」については、27.3%が「自地域で実施可能」と回答している。

【「近隣の集落と連携してもよい活動・行事」におけるその他の回答】

- ・ 農道・市道等の管理
- ・ 環境整備

〔 3 〕 ライフラインについて

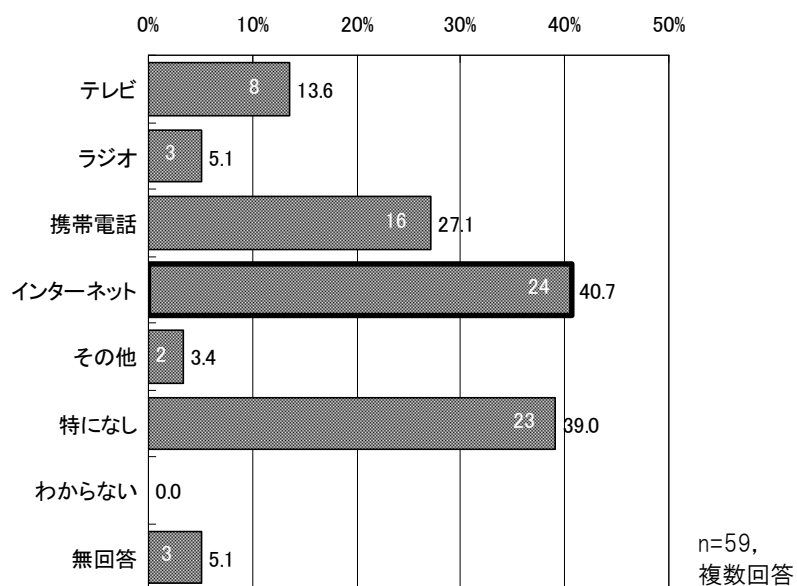
問 14 集落内にある飲料水供給施設の数とその場所、管理代表者、管理体制などについてお聞かせください。

各地域の飲料水供給施設の状況

	簡易水道	飲料水供給施設(団体管理)	その他の施設
鏡地区	3	28	0
土佐山地区	2	32	1
鏡・土佐山以外の地域	3	19	2
合計	8	79	3

問 15 あなたの集落で、受信状況の悪い情報通信手段はありますか。当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

受信状況の悪い情報通信手段



【その他の回答】

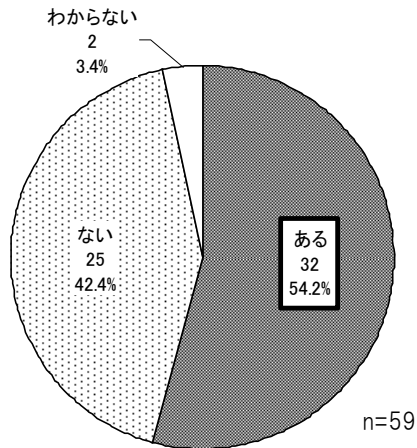
- ・ 防災無線

「特になし」を除き、「インターネット」が 40.7%で最も高く、次いで、「携帯電話」が 27.1%となっている。

〔 4 〕 産業について

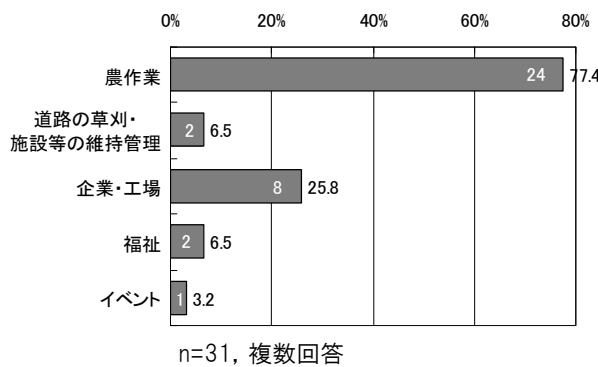
問 16 年間を通じて集落内やその近隣で人手を必要とする働く場や果樹の収穫等期間限定的に働くことのできる場はありますか。当てはまるものを1つ選んで数字を印で囲んでください。(パート、アルバイトを含む。常勤、非常勤は問いません。)

働く場の有無



問 16 - 1 その仕事はどのような内容ですか。

仕事の内容

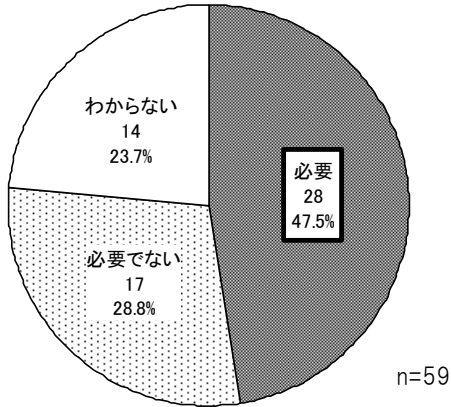


カテゴリ	主な意見
農作業	生姜の植え付け・収穫
	ごんなんの収穫
	果樹(ユズ、梨等)の収穫
道路の草刈・施設等の維持管理	除草、草刈り、農作物の手入れ、収穫作業。
企業・工場	缶詰工場
	ユズ搾汁工場
	オーベルジュ土佐山
福祉	保育園、健康福祉センター
	高知市土佐山健康福祉センターでの介護の仕事

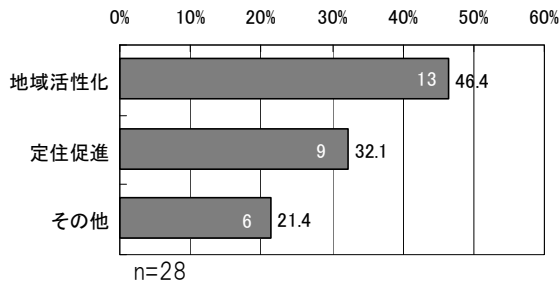
働く場について、32集落で「ある」と回答している。その仕事内容は、「農作業」が77.4%と最も高く、次いで、「企業・工場」の25.8%となっている。

問 17 集落内に新たな雇用の場が必要だと思いますか。当てはまるものを1つ選んで数字を印で囲んでください。また、その理由をお聞かせください。

新たな雇用の場の必要性

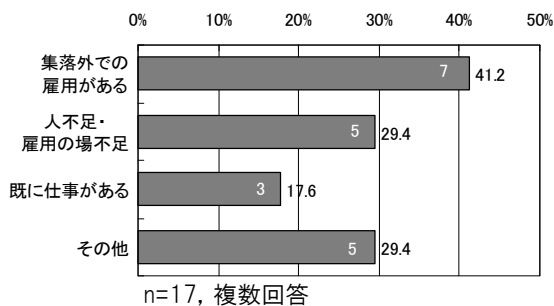


「新たな雇用の場が必要」な理由



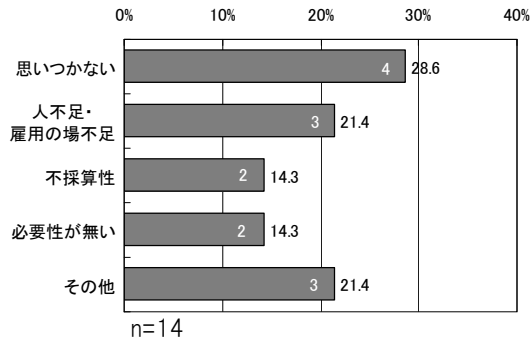
カテゴリ	主な意見
地域活性化	地域にお金落ちるので雇用の場が必要と考える。
	雇用があれば、地域に人が集まり活性化する。
	収入を得られる場は生活にも重要である。地域の人も出て行かず、地域内に残れる。人が減少しているので働く場があれば人が集まり地域が活性化する。
定住促進	若い人や女性が集落の中で働ける場が必要である。農産物の出荷・調整や加工ができれば、収入増加にもつながる。
	生活していくために収入は必要である。雇用の場があれば人も出て行かず、人口の減少の歯止めとなる。山には働く場がない。
	収入を得る雇用の場がないと人が定着しない。働く場がないから地区外へ行かざるを得ない。 Uターンなどで移住するにも仕事があれば生活していける。働く場は必要である。
その他	勤務先には近いほうがいい。
	あるに越したことはないが、手が回らない。 移動にお金がかかる。

「新たな雇用の場は必要でない」理由



カテゴリ	主な意見
集落外での雇用がある	親世代が農業、子世代は集落外に勤めに出ており、集落内に雇用の場は不要。
	集落外に雇用の場があるため、集落内での必要性を感じない。 中心部に働きに出ることで事が足りている。雇用の場を作るには費用も発生するので現実的でない。
人不足・雇用の場不足	今でさえ人手が足りないのに、新たな雇用の場は必要ない
	高齢化しており、雇用できる人が集落にいない。 10年後には集落の存続すら危ういため、新たな雇用の場があったとしても、今現在の自分たちの仕事で精一杯であるため、集落内での働き手はいないと思われる。
既に仕事がある	各戸仕事を持っており、高知市内も近いため。
	皆がそれぞれ生計をたてているので必要ない。
その他	林業も農業も仕事はあるが採算が取れない。林業・農業以外の仕事は考えられない。あきらめている。国がうまく仕組みを作ってくれば仕事はある。
	できないことがない。

「わからない」理由



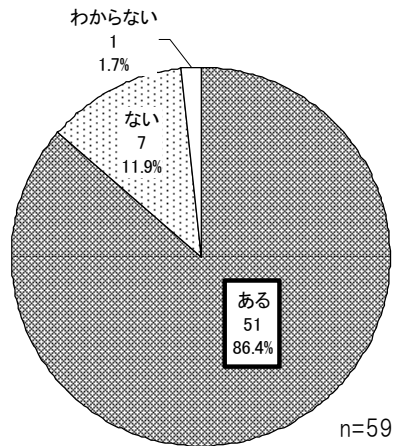
カテゴリ	主な意見
思いつかない	何ができるかわからない。皆ができるような取り組みがあればよいが…皆で一緒に考えたことがない。
	新たな雇用の場が想像できない。
人不足・雇用の場不足	団地の中では勤める所がないため、わからない。
	新たな雇用の場は高齢化しているため、難しいと思う。
不採算性	林業は全国的に衰退しているし、農業も山ばかりで、これ以上耕作できる土地もないし、また兼業農家ばかりだし、それらを考えるとなかなか難しい。
	今以上に新しい雇用の場を設けても、農家経営が成り立つかどうかである。なかなか難しいと思う。
必要性が無い	団地という単位で考えると、団地内に雇用の場は必要とは思わない。
	自立した人が多く、現在必要性がないのでわからない。
その他	何が出来るか、その内容による。
	中心部に通勤もできるので無理して作る必要がない。

新たな雇用の場については、47.5%が「必要」と約半数を占めており、「地域活性化」「定住促進」に繋がると回答している。

一方で、「必要でない」との回答も28.8%あり、「集落外での雇用がある」という理由が多くなっている。

問 18 集落（町内会等）内で、野生鳥獣による農林業被害がありますか。次の中から 1 つ選んで数字を 印で囲んでください。

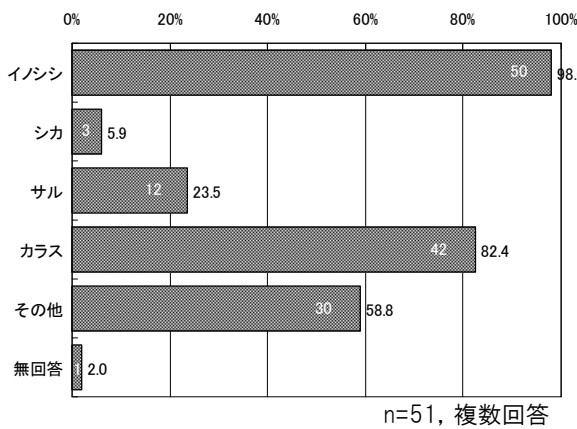
鳥獣被害の有無



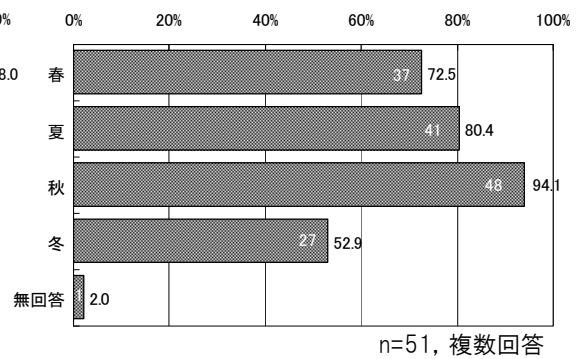
問 18 - 1 「問 18」で「1 . ある」を選択された方にお聞きします。鳥獣被害の内容として当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

鳥獣の種類と時期

【鳥獣の種類】



【被害の時期】

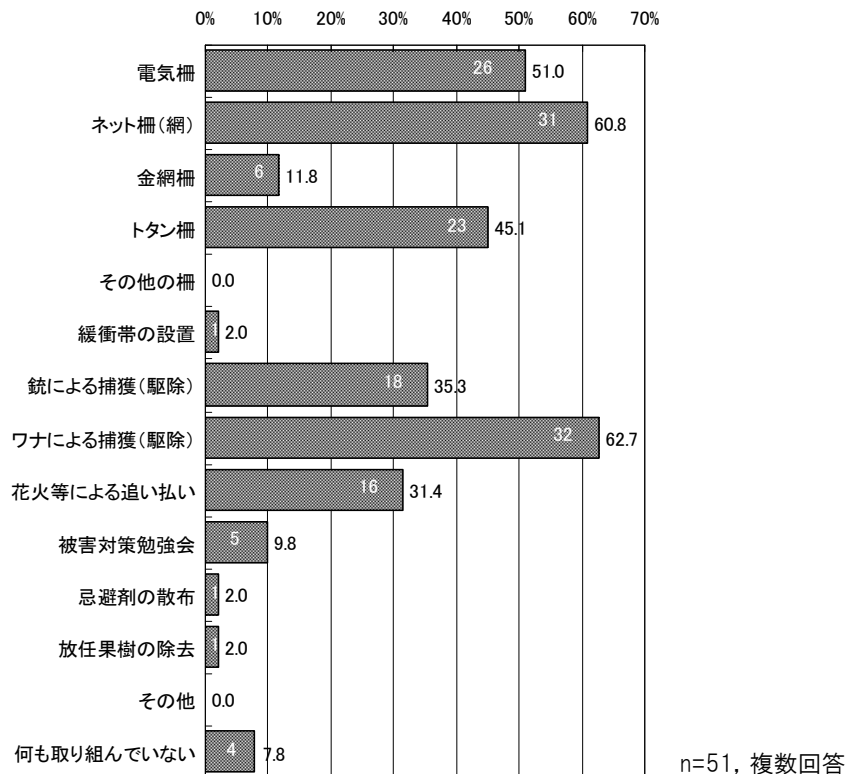


51 集落において「鳥獣被害がある」と回答しており、鳥獣の種類は、イノシシと答えた回答が 98.0%と最も高く、次いで、カラスの 82.4%となっている。

時期については、年間を通じて被害が発生している。

問 18 - 2 野生鳥獣による農林業の被害対策として、現在取り組んでいることは何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

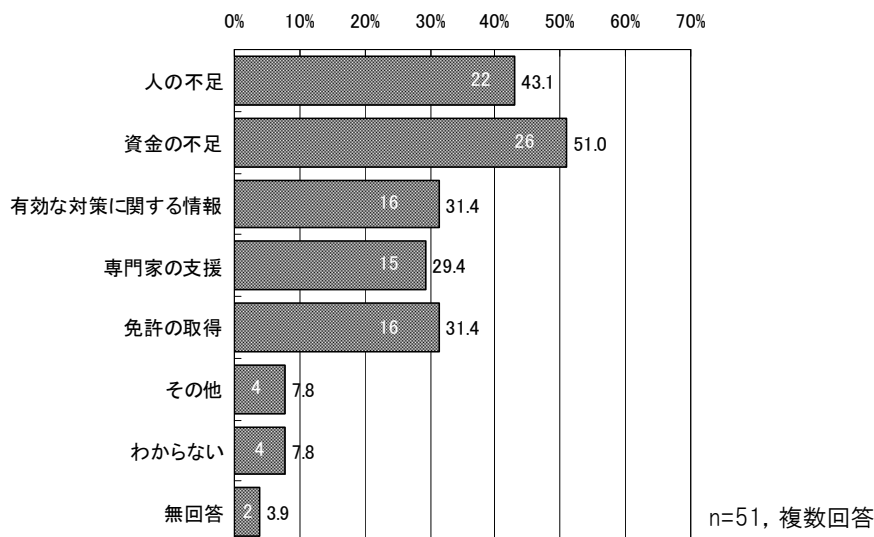
鳥獣被害対策として取り組んでいること



鳥獣被害を受けている 51 集落のうち、「何も取り組んでいない」4 集落を除き、47 集落で何らかの対策を講じている。

問 18 - 3 集落（町内会等）で鳥獣被害対策を進める上での課題は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

鳥獣被害対策を進める上での課題



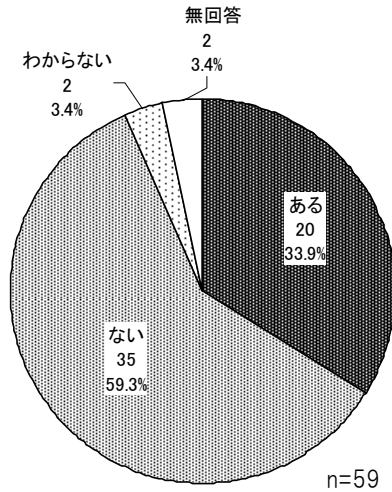
対策を進める上での課題は、「資金不足」が 51.0%と最も高く、次いで、「人の不足」が 43.1%となっている。

〔 5 〕 移住について

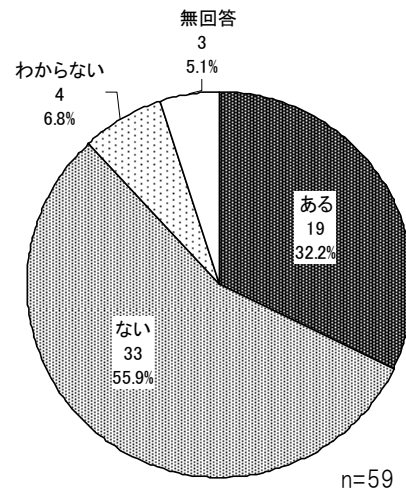
問 19 過去5年以内に集落(町内会等)でターン移住者、Uターン者の受入実績がありますか。次の中から1つ選んで数字を印で囲んでください。

Iターン移住者、Uターン者の受入実績

【Iターン移住者】

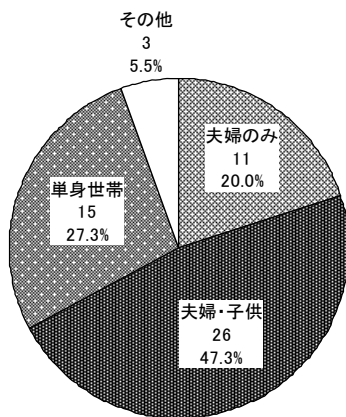


【Uターン者】

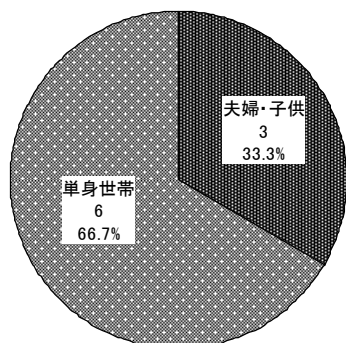


問 19 - 1 これまでに受け入れた世帯の状況についてお聞かせください。

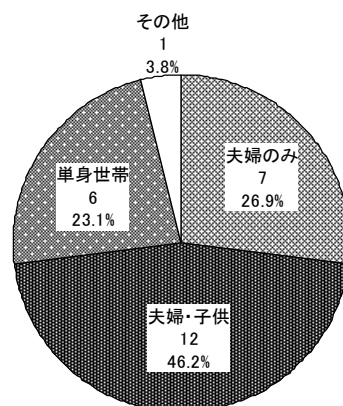
世帯構成別の割合(全地域)



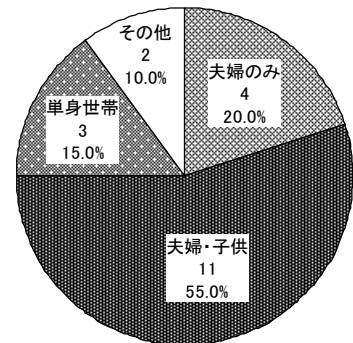
世帯構成別の割合
(鏡地域)



世帯構成別の割合
(土佐山地域)

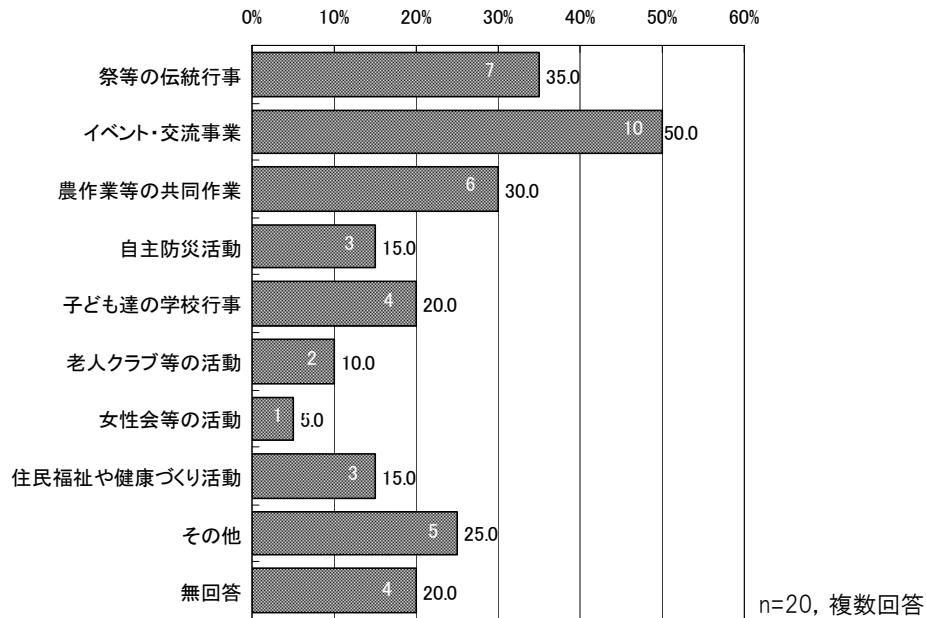


世帯構成別の割合
(鏡・土佐山以外の地域)



問 19 - 2 受け入れた ターン移住者が参加している集落内での地域活動として、当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

I ターン移住者が参加している集落内の地域活動



【その他の内容】

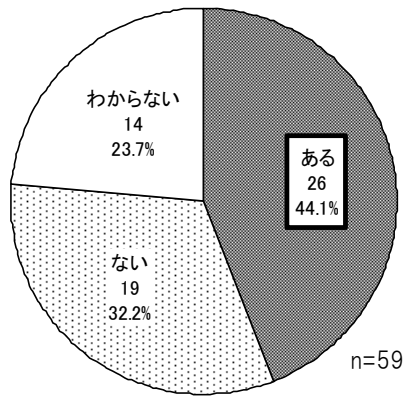
- ・ 道路や団地内の草刈り
- ・ 環境整備

各集落において、Iターン移住者、Uターン者ともに3割強の受入実績がある。

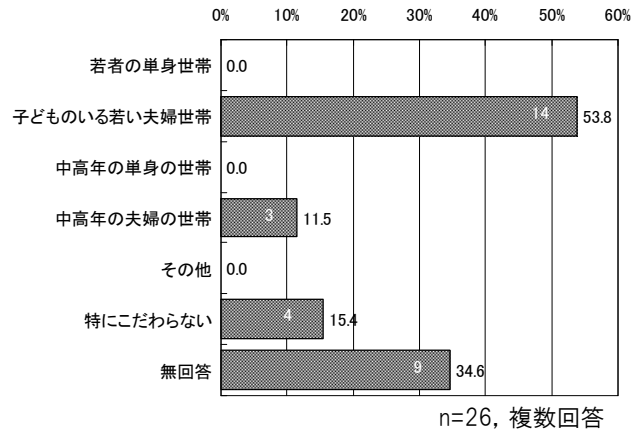
Iターン移住者が参加している地域活動の内容は、「イベント・交流事業」が最も高く50.0%となっており、次いで「祭等の伝統行事」が35.0%となっている。

問 20 集落内で ターン移住者を受け入れてもいいという意見がありますか。また、もし受け入れるとしたら、どのような方を受け入れたいですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

1 ターン移住者の受入意向（全体）

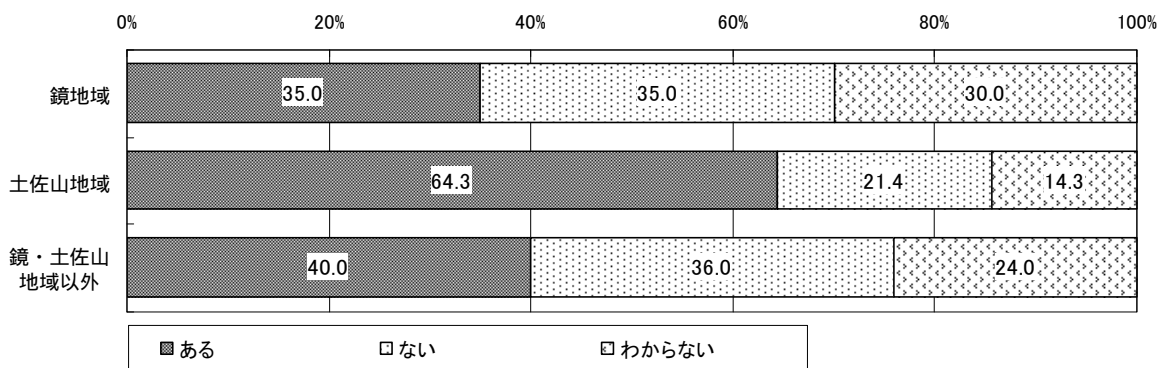


受け入れたいと思う世帯の類型（全体）

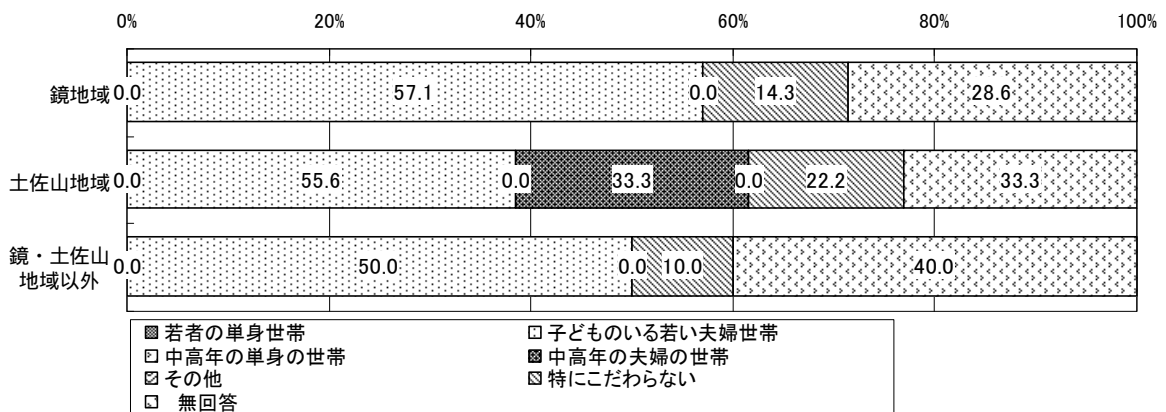


26 集落において、1 ターン移住者を受入意向が「ある」という回答となっている。受け入れたい世帯の類型は、「子どものいる若い夫婦世帯」が 53.8% と最も高い。

1 ターン移住者の受入意向（地域別）



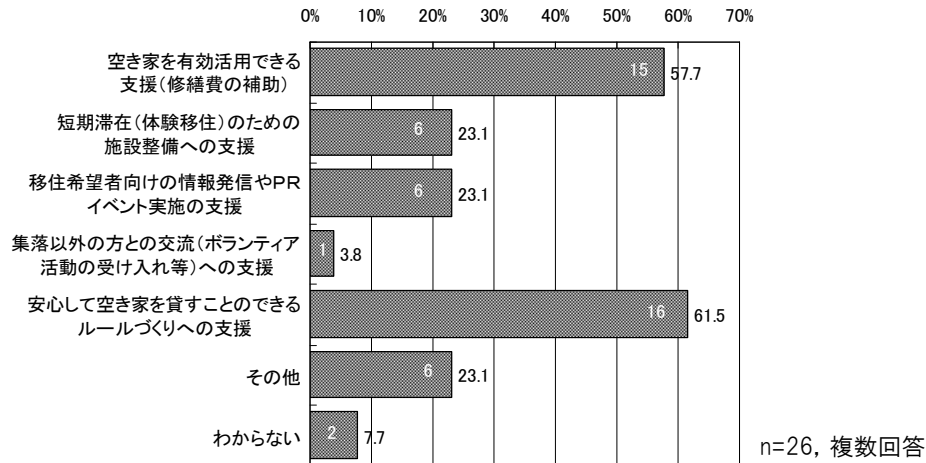
受け入れたいと思う世帯の類型（地域別）



土佐山地域において、1 ターン移住者を受入意向が、64.3% と最も高くなっている。「中高年の夫婦の世帯」を受け入れたい意向があるのも土佐山地域の特徴となっている。

問 20 - 1 ターン移住者を受け入れるためには、行政にどのような支援を望みますか。
次のうちから3つまで選んで数字を 印で囲んでください。

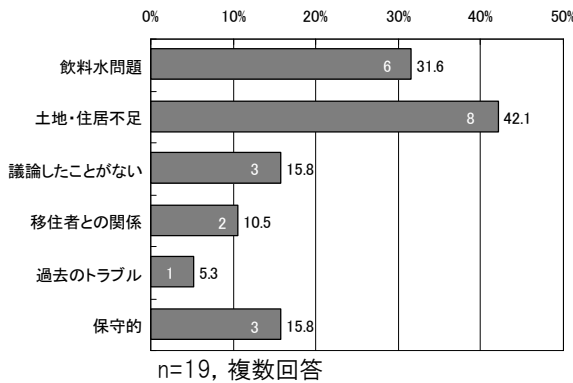
1 ターン移住者受け入れのために望む行政支援



1 ターン移住者受け入れのために望む行政支援は、「安心して空き家を貸すことのできるルールづくりへの支援」が61.5%と最も高く、次いで、「空き家と有効活用できる支援(修繕費の補助)」が57.7%となっており、空き家に関する支援を望む結果となっている。

問 20 - 2 ターン移住者を受け入れる意向が「ない」理由は何ですか。

受け入れ意向がない理由

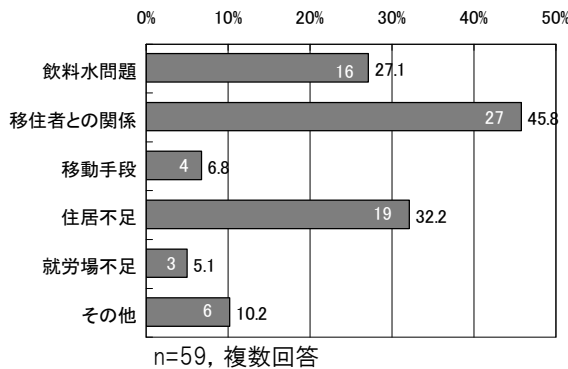


カテゴリ	主な意見
飲料水問題	水源がなく、飲料水の確保が難しい。
	交通の便はいいが、水がない。
土地・住居不足	空き家も土地もないので、新しい居住者はできないと思う。
	市街化調整区域なので家がなかなか建てられない。
議論したことがない	今まで話し合ったことがないため。
移住者との関係	受け入れてもよいが、きちんとした人なら。以前、住民票だけを置いて高知市内で働いている人がいた。実際に住まなくては大変。
	地域のことを一緒にやってくれない人に入られても困る。
	移住者とのトラブルが心配。
過去のトラブル	家賃の滞納。
保守的	閉鎖的な考えの人が多い地区であり、移住者とはうまくやっていけないと思う。
	地域内の他の地区ともあまり交流しようしないのに、ましては移住者を受け入れて交流していくことは困難である。

受け入れる意向がない理由として、「土地・住居不足」が42.1%と最も高く、次いで、「飲料水問題」が31.8%となっている。移住者との関係も指摘されている。

問 21 移住を希望する ターン移住者に集落への移住を勧めるとした場合の課題は何ですか。

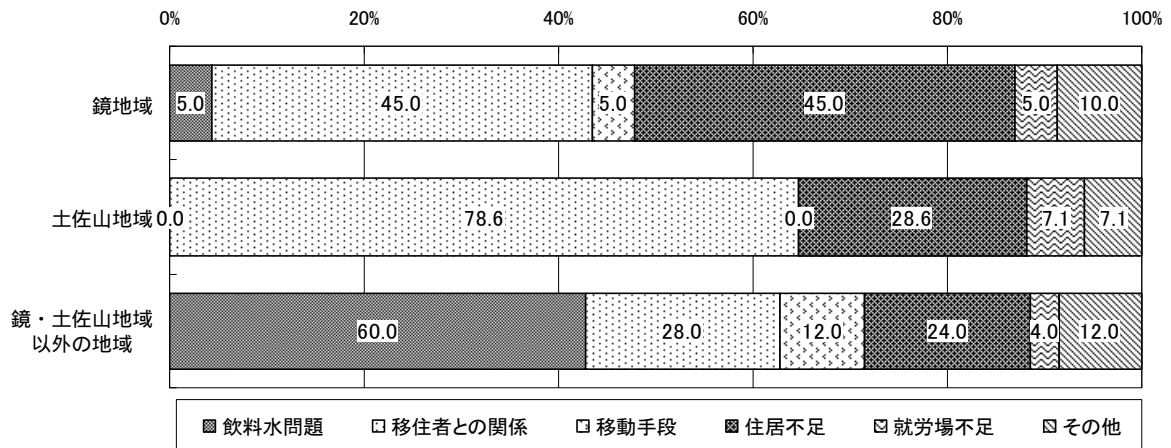
移住を勧める場合の課題（全体）



カテゴリ	主な意見
飲料水問題	飲料水の確保
	水質の問題
移住者との関係	都会と違い、田舎は人との付き合いが大事。
	地元の活動には参加してもらわなければならない。 地区のルールに合わせてもらうことが、協調性が大切と思う。
移動手段	幹線道路の整備、集落への道は一本しかないで、災害時は孤立する。
	高齢者の場合は交通 店が近くにないので車が必須。
住居不足	空き地、空き家がない。
	市街化調整区域なので家がなかなか建てられない。
就労の場不足	地域で年間を通して仕事がない。
	仕事を持って移住してくる場合は問題ないが、農業をする場合は、収入を得られるようサポートする必要がある。
その他	団地であるため、新しく人が入ってくることはないで、移住ということは考えられない。
	地縁によって共有をしている集落の財産（分収林）があり、移住者を受け入れにくい。 若い人の場合は保育所

移住における課題として、「移住者との関係」をあげる意見が最も多く、45.8%を占める。次いで、「住居不足」の32.2%、「飲料水問題」の27.1%となっている。
地域側における課題と移住者側における課題の両面が挙げられている。

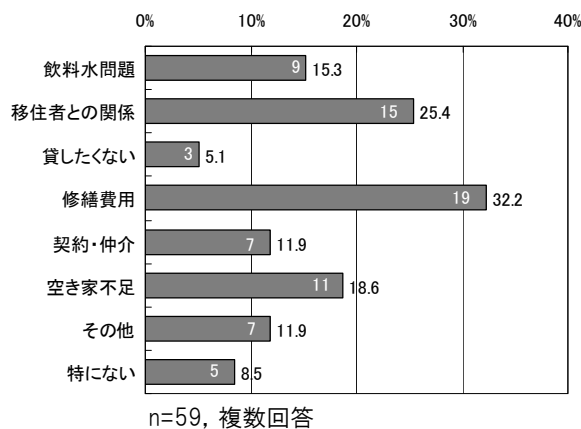
移住を勧める場合の課題（地域別）



鏡地域では、「移住者との関係」と「住居不足」が45.0%と同じ割合となっている。
土佐山地域においては、「移住者との関係」が78.6%と、他地域と比べて最も高い割合となっている。
鏡・土佐山地域以外の地域では、「飲料水問題」が60.0%と最も高くなっている。

問 22 ターン移住者に対して空き家を貸す場合、課題としてどんなことが考えられますか。

空き家を貸す場合の課題



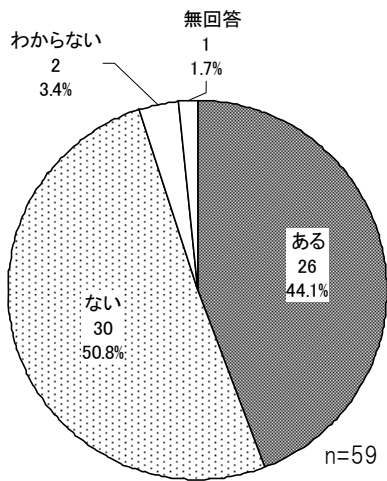
カテゴリ	主な意見
飲料水問題	飲料水の確保。
移住者との関係	適正な土地管理。 集落の共同作業等には参加してほしい。
	地区内での付き合いが大切だと思う。そのためにも、地区の行事に参加すること。入居の条件の中に行事の参加を入れること。また、借りる人のマナーも重要と思う。
	素性のわからない人は受け入れにくい。
修繕費用	改修費、貸す期間などをきちんと決めないと、貸すことに同意を得られないと思う。 空家を改修する費用の負担をどちらがするのか。
契約・仲介	家を貸すと居住権が発生するため、他人に家を乗取られるように思うので、貸借の契約内容をしっかりしておく必要がある。
	家賃や貸す期間など。
	賃貸借のトラブルがないよう、ルールづくりは大切。
空き家不足	空家や空き地がない。
その他	位牌や荷物、家具を置いたまま出ている場合が多いので、それらをどうするか整理しないと何々貸しづらい。独居老人が何人かいるので、移住者と一緒に暮らしてもらったら安心であるが、他人同士と一緒に暮らすのも難しい面があると思うが。
	空き家を貸すことは所有者の問題なので、町内会は関与できない。
	インターネット等ライフラインで不慣れな状況にある。都市部から引っ越してきた場合不便に感じると思う。

空家を貸す課題として、「修繕費用」が32.2%と最も高く、次いで、「移住者との関係」が25.4%となっている。

移住を勧める場合の課題と、同様の傾向にある。

問 23 集落内には ターン移住者等が入居できる空き家(売家、貸し家)はありますか。

空き家の有無



問 23 - 1 その空き家の概要 (所在地、状態等) について教えてください。

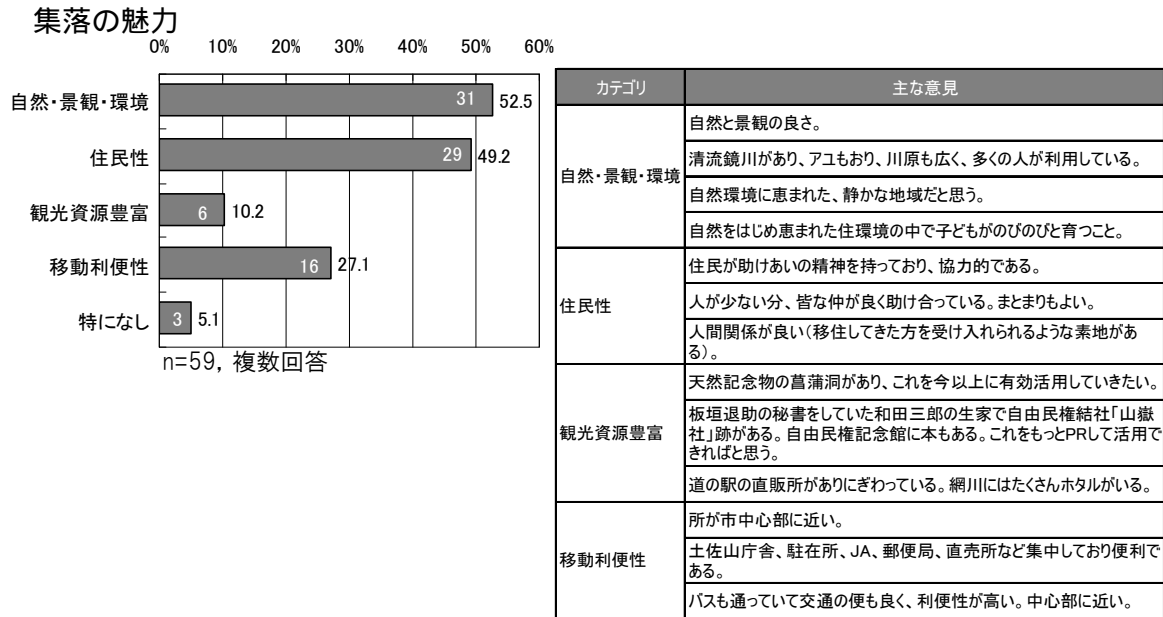
地域毎の空き家数

	空き家 戸数
鏡地区	13
土佐山地区	34
鏡・土佐山以外の地域	34
合計	81

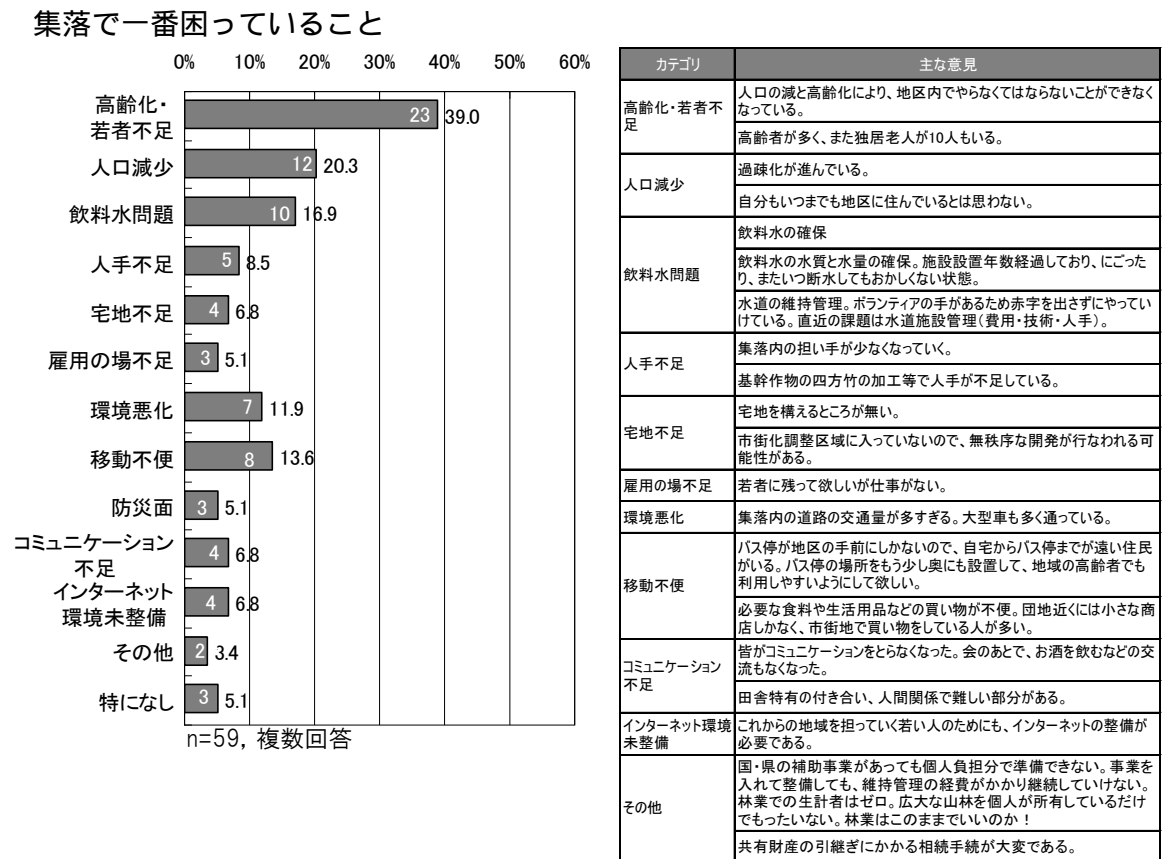
空き家について「ある」との回答が 44.1%となっている。空き家数に関しては、土佐山地域及び鏡・土佐山地域以外の地域で各 34 戸となっている。

〔6〕集落の魅力・課題について

問 24 あなたの集落の一番の魅力は何ですか。また、集落(町内会等)の代表者として、この集落で一番困っていること(課題、悩み)は何ですか。



集落の魅力は、「自然・景観・環境」が 52.5%を占め最も高い。次いで、「住民性」の 49.2%となっており、総じて「住みやすい」という意見となっている。



集落での困り毎は、「高齢化・若者不足」が 39.0%と最も高い。次いで、「人口減少」が 20.3%、「飲料水問題」が 16.9%となっている。

集計編（数表）

数表は、「聞き取り調査」以外の設問について、掲載している。

問1 あなたの集落（町内会等）の名称とおおよその戸数を教えてください。また、そのうち、家はあるが入院等の事情により日頃集落で生活していない戸数を教えてください。

問1. 居住地域

調査数	大河内	小浜	筋川団地	大和	今井	中山団地	草峰	小塩団地	的測	上の測	去坂	柿ノ又	坂口	竹奈路	横矢	増原	梅ノ木	小山	吉原	上吉原
59 100.0	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7

菖蒲	西川	梶谷	日の浦	土佐山	平石	高川	桑尾	都積	網川	弘瀬	久万川	東川	中切
1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7

宗安寺	行川	針原	上里	領家	唐岩	尾立	蓮台	柴巻	円行寺	三谷	七ツ淵	重倉	久礼野
1 1.7	5 8.5	1 1.7	1 1.7	1 1.7	0 0.0	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	3 5.1	5 8.5	3 5.1

問1. 居住地域（校区別）

（上段：実数 下段：構成比）

調査数	鏡（旧第一校区）	鏡（旧第二校区）	鏡（旧第三校区）	鏡（旧第四校区）	土佐山（旧西川校区）	土佐山（旧桑尾校区）	土佐山（旧弘瀬校区）	土佐山（旧中切校区）	朝倉地区	旭地区	初月地区	秦地区	一宮地区
59 100.0	12 20.3	2 3.4	3 5.1	3 5.1	2 3.4	7 11.9	2 3.4	3 5.1	9 15.3	2 3.4	2 3.4	4 6.8	8 13.6

問1-2. 集落（町内会等）の戸数

調査数	10戸未満	2100戸未満	3200戸未満	5300戸未満	50戸以上1000戸未満	1000戸以上	無回答
59 100.0	7 11.9	17 28.8	12 20.3	9 15.3	8 13.6	5 8.5	1 1.7

問1-3. その内、主に集落で生活していない戸数

調査数	0戸	1戸以上5戸未満	5戸以上10戸未満	10戸以上	無回答
59 100.0	19 32.2	29 49.2	4 6.8	2 3.4	5 8.5

問2 あなたの職業、年齢、性別、代表としての在任期間について、次の中から選んで数字を 印で 囲んでください。

問2 - 1 . 職業

(上段：実数 下段：構成比)

調査数	農業	林業	漁業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト	学生	無職	その他	無回答
59	31	1	0	7	11	1	0	8	5	1
100.0	52.5	1.7	0.0	11.9	18.6	1.7	0.0	13.6	8.5	1.7

問2 - 2 . 年齢

調査数	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳代	70歳代	75歳代	80歳以上
59	0	2	7	14	15	12	6	2	1
100.0	0.0	3.4	11.9	23.7	25.4	20.3	10.2	3.4	1.7

問2 - 3 . 性別

調査数	男性	女性
59	54	5
100.0	91.5	8.5

問2 - 4 . 代表としての在任期間

調査数	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	5年以上10年未満	11年未満	15年以上
59	29	5	2	3	2	10	6	2
100.0	49.2	8.5	3.4	5.1	3.4	16.9	10.2	3.4

問3 あなたのお住まいの集落（町内会等）の代表者の任期と選任方法として当てはまるものを、次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

問3 - 1 . 任期 (上段：実数 下段：構成比)

調査数	1年交代	2 ～ 3年交代	決ま つて いな い	そ の 他
59	35	8	14	2
100.0	59.3	13.6	23.7	3.4

問3 - 2 . 選任方法

調査数	各戸持ち回り	世帯代表者による選挙	住民 全 員 に よ る 選 挙	推 薦 に よ る 総 会 承 認	そ の 他	無 回 答
59	7	17	6	18	10	1
100.0	11.9	28.8	10.2	30.5	16.9	1.7

問4 集落（町内会等）の「代表者の後継者」は集落内にいますか。

問4 . 代表者の後継者の有無（上段：実数 下段：構成比）

調査数	いる	いない	わからない
59	53	4	2
100.0	89.8	6.8	3.4

問4 - 1 今後、後継者がいない場合、どのようにして確保したいと考えていますか。

問4 - 1 . 代表者の後継者の確保方法（上段：実数 下段：構成比）

調査数	集落内 確保したい	集落外 確保したいから	確保 したい せ ず 地 域 外 と 連 携	確 保 で き な い	わ か ら な い	そ の 他
4	1	0	0	1	0	2
100.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0

問5 今後(おおよそ10年後)お住まいの集落(町内会等)がどのようになっていると思いますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで数字を印で囲んでください。また、そう思う理由についてお聞かせください。

(上段:実数 下段:構成比)

	調査数	今より活性化している と思う	集落全体が衰退している と思う	集落内の一部(小集落)の地域で 消滅していると思う	集落があると思っている 恐れ	このまま変わらない	わからない
全体	59 100.0	1 1.7	40 67.8	2 3.4	2 3.4	11 18.6	3 5.1
鏡地区	20 100.0	0 0.0	13 65.0	1 5.0	2 10.0	4 20.0	0 0.0
土佐山地区	14 100.0	0 0.0	13 92.9	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
鏡・土佐山地区以外	25 100.0	1 4.0	14 56.0	1 4.0	0 0.0	6 24.0	3 12.0

問6 今後の集落（町内会等）の将来像について、現在、集落全体で話し合いを持っていますか。

（上段：実数 下段：構成比）

	調査数	既に話し合っている	今後話し合う予定である	話し合う予定なし	その他	わからない
全体	59	16	5	29	0	9
	100.0	27.1	8.5	49.2	0.0	15.3
鏡地区	20	7	0	9	0	4
	100.0	35.0	0.0	45.0	0.0	20.0
土佐山地区	14	3	1	9	0	1
	100.0	21.4	7.1	64.3	0.0	7.1
鏡・土佐山地区以外	25	6	4	11	0	4
	100.0	24.0	16.0	44.0	0.0	16.0

問6-1 その話し合っている内容について、当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。また、その話し合いの頻度もあわせて教えてください。

（上段：実数 下段：構成比）

問6-1-1. 話し合いの内容

調査数	今後の集落の維持について	近隣の集落との連携について	人の住居等外部からの	その他
16	15	5	2	2
100.0	93.8	31.3	12.5	12.5

問6-1-2. 話し合いの頻度

調査数	以上1回程度又はそれ	2～3か月に1回程度	不定期	その他
16	4	3	7	2
100.0	25.0	18.8	43.8	12.5

問6-2 集落（町内会等）で話し合った結果、集落（町内会等）の活性化に向けた新たな取組が始まった例がありますか。

（上段：実数 下段：構成比）

問6-2. 集落（町内会等）の活性化に向けて始まった新たな取組の有無

調査数	ある	ない
16	11	5
100.0	68.8	31.3

問7 お住まいの集落（町内会等）を活性化するには、どのような取組が効果的だと思いますか。当てはまるものを次の中から3つまで選んで数字を 印で囲んでください。

（上段：実数 下段：構成比）

問7. 集落（町内会等）の活性化に効果的と思われる取組

調査数	観光資源（地場産品や観	近隣の集落と連携する取組	イベント行事など人との交	移住を促進する取組	農業の共同化の取組	その他	わからない
59	22	22	24	12	6	6	12
100.0	37.3	37.3	40.7	20.3	10.2	10.2	20.3

問7-1 「問7」で選択された活性化の取組をするには何が必要だと思いますか。当てはまるものを次の中から3つまで選んで数字を 印で囲んでください。

問7-1. 活性化に必要なと思われるもの

（上段：実数 下段：構成比）

調査数	住民のやる気、意欲	近隣の集落などの協力	集落内外の若者の力	専門家の支援（知識、助言等）	活動のための資金、場所、設備など	リーダーの存在	わからない	その他
47	29	13	18	14	26	21	0	1
100.0	61.7	27.7	38.3	29.8	55.3	44.7	0.0	2.1

問8 あなたの集落（町内会等）では、都市部の住民との交流イベントや特産品づくりなどに取り組みたいと考えていますか。

（上段：実数 下段：構成比）

	調査数	既に 取り 組ん で いる	組 今 既 み 後 に 取 り 組 み た い こ の 組 他 に も 取 り 組 み た い	こ れ か ら 取 り 組 み た い	な 取 り 組 み た い と は 思 わ ない	わ か ら な い	そ の 他
全 体	59 100.0	7 11.9	5 8.5	9 15.3	15 25.4	19 32.2	4 6.8
鏡地区	20 100.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0	6 30.0	1 5.0
土佐山地区	14 100.0	1 7.1	4 28.6	5 35.7	1 7.1	2 14.3	1 7.1
鏡・土佐山地区以外	25 100.0	2 8.0	0 0.0	3 12.0	7 28.0	11 44.0	2 8.0

問9 現在、集落（町内会等）でどのような共同作業、活動を行っていますか。当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

（上段：実数 下段：構成比）

	調査数	共同で 植え、 稲刈り など (田)	耕作 放棄 地の 共同 維持	草刈 集落 で 管理 する 道路 の	農集 地の 共同 作業 する 山林 や	用水 路の 清掃	集會 所、 広場 等の 維持	社 管理 、 仏 閣、 墓 地の 維	集 落 内 で の 冠 婚 葬 祭
全 体	59 100.0	3 5.1	8 13.6	56 94.9	10 16.9	37 62.7	49 83.1	41 69.5	20 33.9
鏡地区	20 100.0	1 5.0	2 10.0	19 95.0	2 10.0	11 55.0	14 70.0	17 85.0	8 40.0
土佐山地区	14 100.0	1 7.1	4 28.6	14 100.0	1 7.1	6 42.9	14 100.0	12 85.7	3 21.4
鏡・土佐山地区以外	25 100.0	1 4.0	2 8.0	23 92.0	7 28.0	20 80.0	21 84.0	12 48.0	9 36.0

	調査数	社 の 祭 り	伝 統 芸 能 の 継 承 活 動	シ ョ ン レ ク リ エ ー の 活 動	運 動 会 や 旅 行 な ど	ど り 高 齢 者 等 の 相 手 見 守 り	介 護 予 防 活 動 (体 操 な ど い き 百 歳)	自 主 防 災 活 動	そ の 他	特 に 行 っ て い な い
全 体	59 100.0	50 84.7	6 10.2	25 42.4	13 22.0	18 30.5	24 40.7	5 8.5	1 1.7	
鏡地区	20 100.0	16 80.0	2 10.0	3 15.0	5 25.0	4 20.0	9 45.0	2 10.0	0 0.0	
土佐山地区	14 100.0	14 100.0	4 28.6	9 64.3	3 21.4	7 50.0	9 64.3	1 7.1	0 0.0	
鏡・土佐山地区以外	25 100.0	20 80.0	0 0.0	13 52.0	5 20.0	7 28.0	6 24.0	2 8.0	1 4.0	

問 11 集落内に地区会、町内会以外で主に住民がメンバー、又は主に住民以外がメンバーとなっている団体（NPO、自主防災組織、地域おこしの会、特産品づくりの会等）はありますか。

（上段：実数 下段：構成比）

問 11 - 1 . 住民がメンバーとなっている団体

調査数	ある	ない	わからない	無回答
59	24	31	4	0
100.0	40.7	52.5	6.8	0.0

問 11 - 2 . 住民以外がメンバーとなっている団体

調査数	ある	ない	わからない	無回答
59	2	44	7	6
100.0	3.4	74.6	11.9	10.2

問 12 今後の集落外との連携の必要性についてどのように思いますか。

(上段：実数 下段：構成比)

調査数	主に近隣の集落と連携していく必要があると思う	主にNPO等の団体(近隣の集落以外)と連携している	連携する必要性は感じていない	その他
59	40	4	14	1
100.0	67.8	6.8	23.7	1.7

問 13 今後、近隣の集落（町内会等）と連携した活動や行事を行うとした場合、どのような活動・行事であれば連携してもいいと思いますか。当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

（上段：実数 下段：構成比）

	調査数	祭等の伝統行事	イベント・交流事業	農作業等の共同作業	自主防災活動	子ども達の学校行事	老人クラブ等の活動	女性会等の活動	住民福祉や健康づくり活動	その他	無回答
全体	59 100.0	19 32.2	33 55.9	9 15.3	42 71.2	24 40.7	19 32.2	14 23.7	24 40.7	5 8.5	1 1.7
鏡地区	20 100.0	5 25.0	10 50.0	2 10.0	14 70.0	3 15.0	6 30.0	4 20.0	8 40.0	2 10.0	0 0.0
土佐山地区	14 100.0	5 35.7	8 57.1	4 28.6	10 71.4	4 28.6	3 21.4	4 28.6	4 28.6	1 7.1	1 7.1
鏡・土佐山地区以外	25 100.0	9 36.0	15 60.0	3 12.0	18 72.0	17 68.0	10 40.0	6 24.0	12 48.0	2 8.0	0 0.0

問 15 あなたの集落で、受信状況の悪い情報通信手段はありますか。当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

問 15 . 受信状況の悪い情報通信手段 (上段：実数 下段：構成比)

調査数	テレビ	ラジオ	携帯電話	インターネット	その他	特になし	わからない	無回答
59	8	3	16	24	2	23	0	3
100.0	13.6	5.1	27.1	40.7	3.4	39.0	0.0	5.1

問 16 年間を通じて集落内やその近隣で人手を必要とする働く場や果樹の収穫等期間限定的に働くことのできる場はありますか。

(上段：実数 下段：構成比)

問 16 . 仕事の有無

調査数	あ る	な い	わ か ら な い
59	32	25	2
100.0	54.2	42.4	3.4

問 17 集落内に新たな雇用の場が必要だと思いませんか。当てはまるものを1つ選んで数字を 印で囲んでください。

(上段：実数 下段：構成比)

問 17 . 雇用の場の必要性

調査数	必要	必要でない	わからない
59	28	17	14
100.0	47.5	28.8	23.7

問 18 集落（町内会等）内で、野生鳥獣による農林業被害がありますか。

（上段：実数 下段：構成比）

問 18 . 野生鳥獣による農林業被害の有無

調査数	ある	ない	わからない
59	51	7	1
100.0	86.4	11.9	1.7

問 18 - 1 「問 18」で「1 . ある」を選択された方にお聞きします。鳥獣被害の内容として当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

（上段：実数 下段：構成比）

問 18 - 1 - 1 . 鳥獣の種類

調査数	イノシシ	シカ	サル	カラス	その他	無回答
51	50	3	12	42	30	1
100.0	98.0	5.9	23.5	82.4	58.8	2.0

問 18 - 1 - 2 . 被害の時期

調査数	春	夏	秋	冬	無回答
51	37	41	48	27	1
100.0	72.5	80.4	94.1	52.9	2.0

問 18 - 2 野生鳥獣による農林業の被害対策として、現在取り組んでいることは何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

問 18 - 2 . 野生鳥獣による農林業の被害対策

（上段：実数 下段：構成比）

調査数	電気柵	ネット柵（網）	金網柵	トタン柵	その他の柵	緩衝帯の設置	銃による捕獲（駆除）	ワナによる捕獲（駆除）	花火等による追い払い	被害対策勉強会	忌避剤の散布	放任果樹の除去	その他	何も取り組んでいない
51	26	31	6	23	0	1	18	32	16	5	1	1	0	4
100.0	51.0	60.8	11.8	45.1	0.0	2.0	35.3	62.7	31.4	9.8	2.0	2.0	0.0	7.8

問 18 - 3 集落（町内会等）で鳥獣被害対策を進める上での課題は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

問 18 - 3 . 鳥獣被害対策を進める上での課題 (上段：実数 下段：構成比)

調査数	人の不足	資金の不足	報 有 効な 対策 に関する 情	専 門 家 の 支 援	免 許 の 取 得	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
51	22	26	16	15	16	4	4	2
100.0	43.1	51.0	31.4	29.4	31.4	7.8	7.8	3.9

問 19 過去5年以内に集落（町内会等）で ターン移住者、Uターン者の受入実績がありますか。次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

（上段：実数 下段：構成比）

問 19 . 過去5年以内に集落（町内会等）で ターン移住者の受入実績

調査数	ある	ない	わからない	無回答
59	20	35	2	2
100.0	33.9	59.3	3.4	3.4

問 19 . 過去5年以内に集落（町内会等）でUターン移住者の受入実績

調査数	ある	ない	わからない	無回答
59	19	33	4	3
100.0	32.2	55.9	6.8	5.1

問 19 - 2 受け入れた ターン移住者が参加している集落内での地域活動として、当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

問 19 - 2 . ターン移住者が参加している地域活動 （上段：実数 下段：構成比）

調査数	祭等の伝統行事	イベント・交流事業	農作業等の共同作業	自主防災活動	子ども達の学校行事	老人クラブ等の活動	女性会等の活動	住民福祉や健康づくり活動	その他	無回答
20	7	10	6	3	4	2	1	3	5	4
100.0	35.0	50.0	30.0	15.0	20.0	10.0	5.0	15.0	25.0	20.0

問 20 集落内で ターン移住者を受け入れてもいいという意見がありますか。また、もし受け入れるとしたら、どのような方を受け入れたいですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

問 20 . ターン移住者を受け入れてもいいという意見の有無
(上段：実数 下段：構成比)

	調査数	ある	ない	わからない
全 体	59 100.0	26 44.1	19 32.2	14 23.7
鏡地区	20 100.0	7 35.0	7 35.0	6 30.0
土佐山地区	14 100.0	9 64.3	3 21.4	2 14.3
鏡・土佐山地区以外	25 100.0	10 40.0	9 36.0	6 24.0

問 20 . ターン移住者を受け入れたいと思う世帯の類型
(上段：実数 下段：構成比)

	調査数	若者の単身世帯	子どもものいる若い夫婦世帯	中高年の単身の世帯	中高年の夫婦の世帯	その他	特にこだわらない	無回答
全 体	26 100.0	0 0.0	14 53.8	0 0.0	3 11.5	0 0.0	4 15.4	9 34.6
鏡地区	7 100.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6
土佐山地区	9 100.0	0 0.0	5 55.6	0 0.0	3 33.3	0 0.0	2 22.2	3 33.3
鏡・土佐山地区以外	10 100.0	0 0.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0

問 20 - 1 ターン移住者を受け入れるためには、行政にどのような支援を望みますか。次のうちから 3 つまで選んで数字を 印で囲んでください。

(上段：実数 下段：構成比)
問 20 - 1 . ターン移住者受け入れのために行政に望む支援

調査数	空き家を有効活用できる(修繕費の補助)	短期滞在(体験移住)のための施設整備への支援	移住希望者向けの情報発信や R イベントの実施	集落以外の方との交流(ポラテイルづくりへの支援)	安心して空き家を貸すことのできる(保険のサポート)	その他	わからない
26 100.0	15 57.7	6 23.1	6 23.1	1 3.8	16 61.5	6 23.1	2 7.7

問 23 集落内には ターン移住者等が入居できる空き家（売家、貸し家）はありますか。

（上段：実数 下段：構成比）

問 23 . ターン移住者等が入居できる空き家はあるか

調査数	ある	ない	わからない	無回答
59	26	30	2	1
100.0	44.1	50.8	3.4	1.7

調查票

集落代表者用調査票

調査へのご協力をお願い

<本調査の趣旨>

今年度、高知市では、中山間地域*における地域の現状や課題を把握することを目的として、「高知市中山間地域実態把握調査」を実施いたします。この調査は、集落又は町内会等の集落代表者の方と、対象地域の各世帯の世帯主の方を対象に行います。

調査結果につきましては、今後の中山間地域における様々な施策を検討する際等に有効活用させていただきます。つきましては、ご多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

平成 25 年 7 月

高知市長 岡崎 誠也
担当課：総務部総合政策課
住 所：高知市本町5丁目1番45号
電 話：088-823-9407

中山間地域：この調査では、鏡地域、土佐山地域、宗安寺、行川、針原、上里、柳家、唐右、尾立、運台、柴巻、丹行寺、三谷、七ツ淵、重倉、久礼野を中山間地域として定め、調査を行います。

【ご記入にあたってのお願い】

- ① ご回答は封筒のあて名のご本人がご回答ください。
- ② ご回答はこの調査票で行います。設問に沿い選択肢の中から数字を選び〇印で囲んでください。
- ③ 「その他」に当てはまる場合は、その数字を〇印で囲み、調査票の〔 〕の中に、具体的にご記入ください。
- ④ 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】という質問項目は調査票への記入の必要はありませんが、後日、市職員が聞き取り調査にお伺いさせていただきますので、その際、回答をお聞かせください。

<回答方法>

この調査では、調査票の郵送後に、市職員が事前にご連絡を差し上げた上で、聞き取り調査にお伺いします。調査票は、その際回収させていただきます。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

(本調査は、高知市が国際航業株式会社高知営業所に委託して行っております。)

〒780-0822 高知はりまや町3丁目3番2号

国際航業株式会社 高知営業所 電話番号088-883-3647

(受付時間 9:00~17:00 土日含む)

全ての方にお聞きします

(集落(町内会等)、集落の代表者について)

問1 あなたの集落(町内会等)の名称とおよその戸数を教えてください。
また、そのうち、家はあるが入院等の事情により日頃集落で生活していない戸数を教えてください。

> 集落(町内会等)の名称 []
> 集落(町内会等)の戸数 []
その内、主に集落で生活していない戸数 []

問2 あなたの職業、年齢、性別、代表としての在任期間について、次の中から選んで数字を 印で囲んでください。

> 職業(兼業の方は当てはまるものを全て選んでください)

1. 農業
2. 林業
3. 漁業
4. 自営業
5. 会社員・公務員・団体職員
6. パート・アルバイト
7. 学生
8. 無職
9. その他 []

> 年齢

1. 29 歳以下
2. 30 歳代
3. 40 歳代
4. 50 歳代
5. 60 ~ 64 歳
6. 65 ~ 69 歳
7. 70 ~ 74 歳
8. 75 ~ 79 歳
9. 80 歳以上

> 性別

1. 男性
2. 女性

> 代表として在任期間(今年7月末時点)
〔 年 月 日 〕

問3 あなたのお住まいの集落(町内会等)の代表者の任期と選任方法として当てはまるものを、次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

> 任期
1. 1 年交代
2. 2 ~ 3 年交代
3. 決まっていない
4. その他 []

> 選任方法

1. 各戸持ち回り
2. 世帯代表者による選挙
3. 住民全員による選挙
4. 推薦による総会承認
5. その他 []

問4 集落（町内会等）の「代表者の後継者」は集落内にいますか。次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

>代表者の後継者の有無

1. いる 2. いない 3. わからない

問4で「2. いない」を選択された方のみ

問4-1 今後、後継者がいない場合、どのようにして確保したいと考えていますか。次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

>代表者の後継者の確保方法

1. 集落内で確保したい 2. 集落外から確保したい
3. 確保せず地域外と連携したい 4. 確保できない
5. わからない 6. その他（ ）

全ての方にお聞きします
（集落活動等について）

問5 今後（おおよそ10年後）、お住まいの集落（町内会等）がどのようなになっていると思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んで数字を 印で囲んでください。

また、そう思う理由についてお聞かせください。

>集落（町内会等）の今後の見通し

1. 今より活性化していると思う
2. 集落全体が衰退していると思う
3. 集落内の一部の地域（小集落）が消滅していると思う
4. 集落が消滅している恐れがあると思う
5. このまま変わらない
6. わからない

>その理由 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問6 今後の集落（町内会等）の将来像について、現在、集落全体で話し合いを持っていますか。次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

>集落（町内会等）の将来像についての話し合いの有無

1. 既に話し合っている 2. 今後話し合う予定である
3. 話し合う予定なし 4. その他（ ）
5. わからない

問6で「1. 既に話し合っている」を選択された方のみ

問6-1 その話し合っている内容について、当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。また、その話し合いの頻度もあわせて教えてください。

>話し合いの内容（当てはまるもの全て選択）

1. 今後の集落の維持について
2. 近隣の集落との連携について
3. 移住者等外部からの人の受入について
4. その他（ ）

>頻度（いずれか1つ選択）

1. 月に1回程度又はそれ以上
2. 2～3か月に1回程度
3. 不定期
4. その他（ ）

問6で「1. 既に話し合っている」を選択された方のみ

問6-2 集落（町内会等）で話し合った結果、集落（町内会等）の活性化に向けた新たな取組が始まった例がありますか。ある場合、その内容を教えてください。

>集落（町内会等）の活性化に向けて始まった新たな取組の有無

1. ある 2. ない

>取組の内容 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問10 「問9」で選択した活動のうち、近い将来（1～3年程度）に共同作業（活動）が困難になると思われるもの、今後（4年～10年程度）困難になると思われるものを、教えてください。

また、共同作業（活動）の継続が困難になった場合、どのように対応しようと考えているのか教えてください。

➤今後活動が困難になる活動、その対応
【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問11 集落内に地区会、町内会以外で主に住民がメンバー、又は主に住民以外がメンバーとなっている団体（NPO、自主防災組織、地域おこしの会、特産品づくりの会等）はありますか。

次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

➤団体の有無
住民がメンバーとなっている団体 1. ある 2. ない 3. わからない
住民以外がメンバーとなっている団体 1. ある 2. ない 3. わからない

問11-1 「1. ある」を選択された方のみ
その団体はどのような団体が教えてください。

➤団体の内容 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

全ての方にお聞きします

問12 今後の集落外との連携の必要性についてどのように思われますか。当てはまるものを1つ選んで数字を 印で囲んでください。

➤連携の意向
1. 主に近隣の集落と連携していく必要があると思う
2. 主にNPO等の団体（近隣の集落以外）と連携していく必要があると思う
3. 連携する必要性は感じていない
4. その他（ ）

問12-1 「問12」の選択肢を選択された理由をお聞かせください。

➤理由 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問13 今後、近隣の集落（町内会等）と連携した活動や行事を行うとした場合、どのような活動・行事であれば連携してもいいと思いますか。当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

➤今後連携してもいいと思う活動
1. 祭等の伝統行事
2. イベント・交流事業
3. 農作業等の共同作業
4. 自主防災活動
5. 子ども達の学校行事
6. 老人クラブ等の活動
7. 女性会等の活動
8. 住民福祉や健康づくり活動
9. その他（ ）

問13-1 「問13」で選択しなかった活動や行事について、それらを選択しなかった理由をお聞かせください。

➤選択しなかった理由 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

（ライフラインについて）

問14 集落内にある飲料水供給施設の数とその場所、管理代表者、管理体制などについてお聞かせください。

➤飲料水供給施設について 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問15 あなたの集落で、受信状況の悪い情報通信手段はありますか。当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

➤受信状況の悪い情報通信手段
1. テレビ 2. ラジオ 3. 携帯電話
4. インターネット 5. その他（ ）
6. 特になし 7. わからない

(産業について)

問16 年間を通じて集落内やその近隣で人手を必要とする働く場や果樹の収穫等期間限定的に働くことのできる場がありますか。当てはまるものを1つ選んで数字を印で囲んでください。(パート、アルバイトを含む。常勤、非常勤は問いません。)

> 仕事の有無

- 1. ある
- 2. ない
- 3. わからない

問16で「1. ある」を選択された方のみ

問16-1 その仕事はどのような内容ですか。

> 仕事の内容 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

全ての方にお聞きします

問17 集落内に新たな雇用の場が必要だと思えますか。当てはまるものを1つ選んで数字を印で囲んでください。また、その理由をお聞かせください。

> 雇用の場の必要性

- 1. 必要
 - 2. 必要ではない
 - 3. わからない
- > その理由 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問18 集落(町内会等)内で、野生鳥獣による農林業被害がありますか。次の中から1つ選んで数字を印で囲んでください。

> 被害の有無

- 1. ある
- 2. ない
- 3. わからない

問18で「1. ある」を選択された方のみ

問18-1 「問18」で「1. ある」を選択された方にお聞きします。鳥獣被害の内容として当てはまるものを全て選んで数字を印で囲んでください。

> 鳥獣の種類

- 1. イノシシ
- 2. シカ
- 3. サル
- 4. カラス
- 5. その他〔 〕

> 被害の時期

- 1. 春
- 2. 夏
- 3. 秋
- 4. 冬

次ページへ続きます

問18で「1. ある」を選択された方のみ

問18-2 野生鳥獣による農林業の被害対策として、現在取り組んでいることは何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を印で囲んでください。

> 対策の内容

- 1. 電気柵
- 2. ネット柵(網)
- 3. 金網柵
- 4. トタン柵
- 5. その他の柵
- 6. 緩衝帯の設置
- 7. 銃による捕獲(駆除)
- 8. ワナによる捕獲(駆除)
- 9. 花火等による追い払い
- 10. 被害対策強化
- 11. 忌避剤の散布
- 12. 放任果樹の除去
- 13. その他〔 〕
- 14. 何も取り組んでいない

問18で「1. ある」を選択された方のみ

問18-3 集落(町内会等)で鳥獣被害対策を進める上での課題は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を印で囲んでください。

> 鳥獣被害対策を進める上での課題

- 1. 人の不足
- 2. 資金の不足
- 3. 有効な対策に関する情報
- 4. 専門家の支援
- 5. 免許の取得
- 6. その他〔 〕
- 7. わからない

全ての方にお聞きします

(移住について)

問19 過去5年以内に集落(町内会等)で ターン移住者, Uターン者, Uターン者の受入実績がありますか。次の中から1つ選んで数字を 印で囲んでください。

※Iターン移住者 県内外, 市内外を問わず, 集落外から移住込んだ方を対象とします。集落外から市営住宅へ入居された方も含みます。

※Uターン者 集落の出身者で集落外へ転出した後, 集落へ戻られた方を対象とします。

>実績の有無

ターン	1. ある	2. ない	3. わからない
Uターン	1. ある	2. ない	3. わからない

問19で「1. ある」を選択された方のみ

問19-1 これまでに受け入れた世帯の状況についてお聞かせください。

>実績の内容 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問19で「1. ある」を選択された方のみ

問19-2 受け入れた ターン移住者が参加している集落内での地域活動として、当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

> ターン移住者が参加している地域活動

- | |
|-----------------|
| 1. 祭等の伝統行事 |
| 2. イベント・交流事業 |
| 3. 農作業等の共同作業 |
| 4. 自主防災活動 |
| 5. 子ども連の学校行事 |
| 6. 老人クラブ等の活動 |
| 7. 女性会等の活動 |
| 8. 住民福祉や健康づくり活動 |
| 9. その他〔 〕 |

全ての方にお聞きします

問20 集落内で ターン移住者を受け入れてもいいという意見がありますか。また、もし受け入れるとしたら、どのような方を受け入れたいですか。次の中から当てはまるものを全て選んで数字を 印で囲んでください。

>Iターン移住者を受け入れてもいいという意見の有無

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

>受け入れたいと思う世帯の種類

- | |
|-----------------|
| 1. 若者の単身世帯 |
| 2. 子どものいる若い夫婦世帯 |
| 3. 中高年の単身の世帯 |
| 4. 中高年の夫婦の世帯 |
| 5. その他〔 〕 |
| 6. 特にこだわらない |

「問20-2」へ
お進み下さい。

問20で「1. ある」を選択された方のみ

問20-1 ターン移住者を受け入れるためには、行政にどのような支援を望みますか。次のうちから3つまで選んで数字を 印で囲んでください。

> ターン移住者受け入れのために行政に望む支援

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 空き家を有効活用できる支援(修繕費の補助) |
| 2. 短期滞在(体験移住)のための施設整備への支援 |
| 3. 移住希望者向けの情報発信やPRイベント実施の支援 |
| 4. 集落以外の方との交流(ボランティア活動の受け入れ等)への支援 |
| 5. 安心して空き家を貸すことのできるルールづくりへの支援 |
| 6. その他〔 〕 |
| 7. わからない |

問20で「2. ない」を選択された方のみ

問20-2 その理由は何だと思えますか。お聞かせください。

>理由 Iターン移住者を受け入れてもいいという意見がない理由
【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

全ての方にお聞きします

問21 移住を希望する ターン移住者に集落への移住を勧めるとした場合の課題は何ですか。

> 集落への移住の課題 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問22 ターン移住者に対して空き家を貸す場合、課題としてどんなことが考えられますか。

> 空き家を貸す場合の課題 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

問23 集落内には、ターン移住者等が入居できる空き家（売家、貸し家）はありますか。

> 空き家の有無

1. ある 2. ない 3. わからない

問23で「1.ある」を選択された方のみ

問23-1 その空き家の概要（所在地、状態等）について教えてください。

> 空き家の概要 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

（集落の魅力・課題について）

問24 あなたの集落の一番の魅力は何ですか。また、集落（町内会等）の代表者として、この集落で一番困っていること（課題、悩み）は何ですか。

> 集落の魅力・課題 【聞き取り調査でお伺いした際にお聞きします】

質問は以上で終了です。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

**高知市中山間地域実態調査
集落代表者調査結果報告書**

発行 高知市総務部総合政策課
〒780-8571 高知市本町五丁目1 - 4 5
TEL(088) 823-9407 FAX(088) 823-9382
発行日 平成 25 年 (2013 年) 10 月発行